THE Lion
ライオン誌12月号 2009年（平成21年）11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第52巻第6号
LIONS INTERNATIONAL
IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International
12
第52巻
第6号
December 2009
THEME ライオンズ雑学事典
昨年12月号に掲載した雑学事典の第2弾。
会員、クラブの皆さんからお寄せ頂いた情報を基に、
さまざまな「ナンバー1・オンリー1」を紹介する。

ライオンズクエスト・プログラムの25周年を祝おう

ライオンズクエストは1984年のプログラム開始以来、今年で記念すべき25周年を迎えました。現在までに世界50カ国、1,100万人以上の青少年が、このプログラムによってライフスキル（生きる力）を学んでいます。日本でも2000年のパイロット事業スタート以来、北は北海道から南は九州・沖縄まで、多くの地区でプログラムが実施されています。

THE LION MAGAZINE IN JAPAN
December 2009, Vol.53 No.6

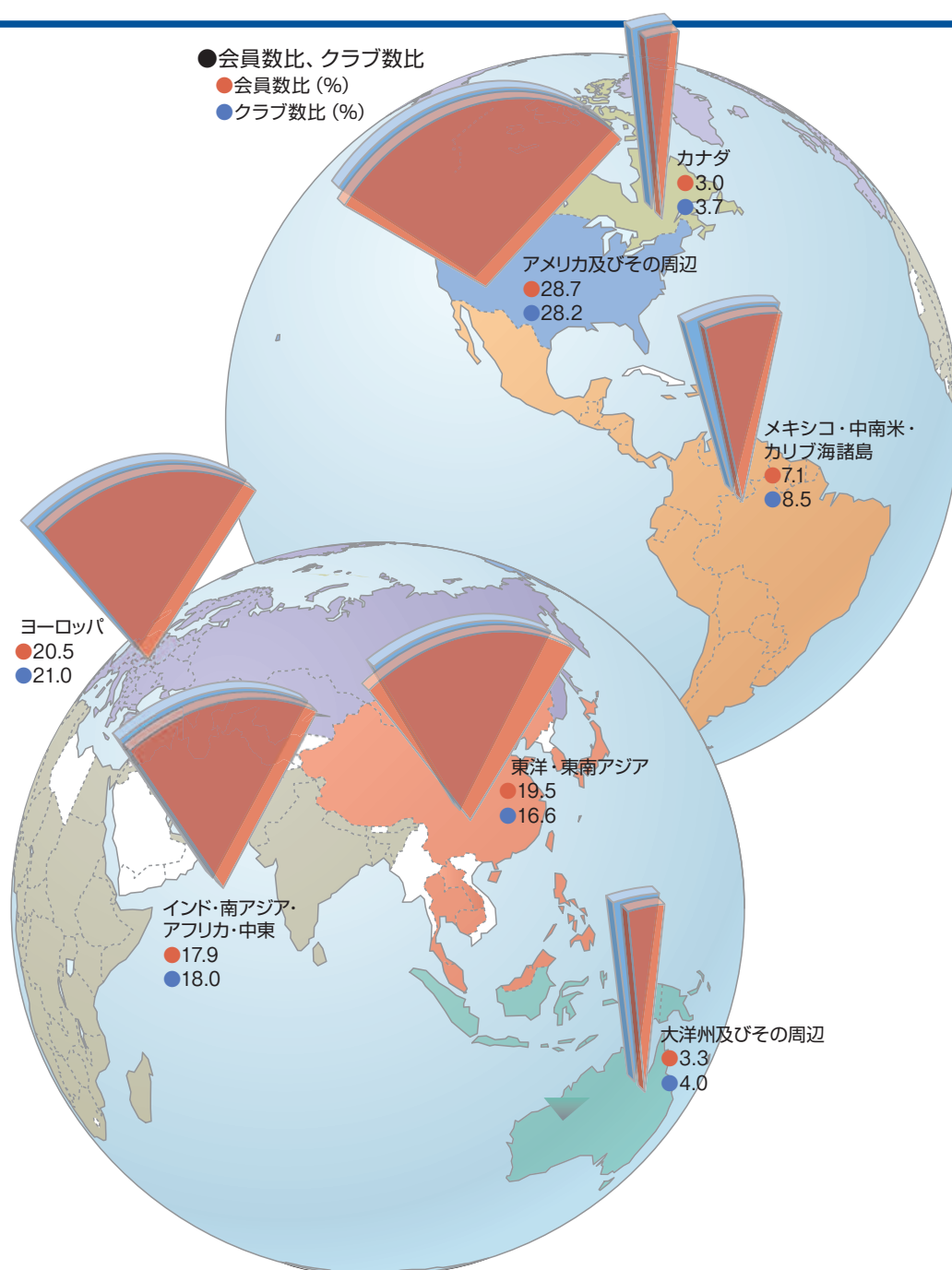
We Serve CONTENTS

2009年12月号　表紙
長野県軽井沢町
白糸の滝
写真／鈴木秀晃
■詳細はウェブマガジンで
https://www.thelion-mag.jp

2008-09年度 ライオンズクラブ統計

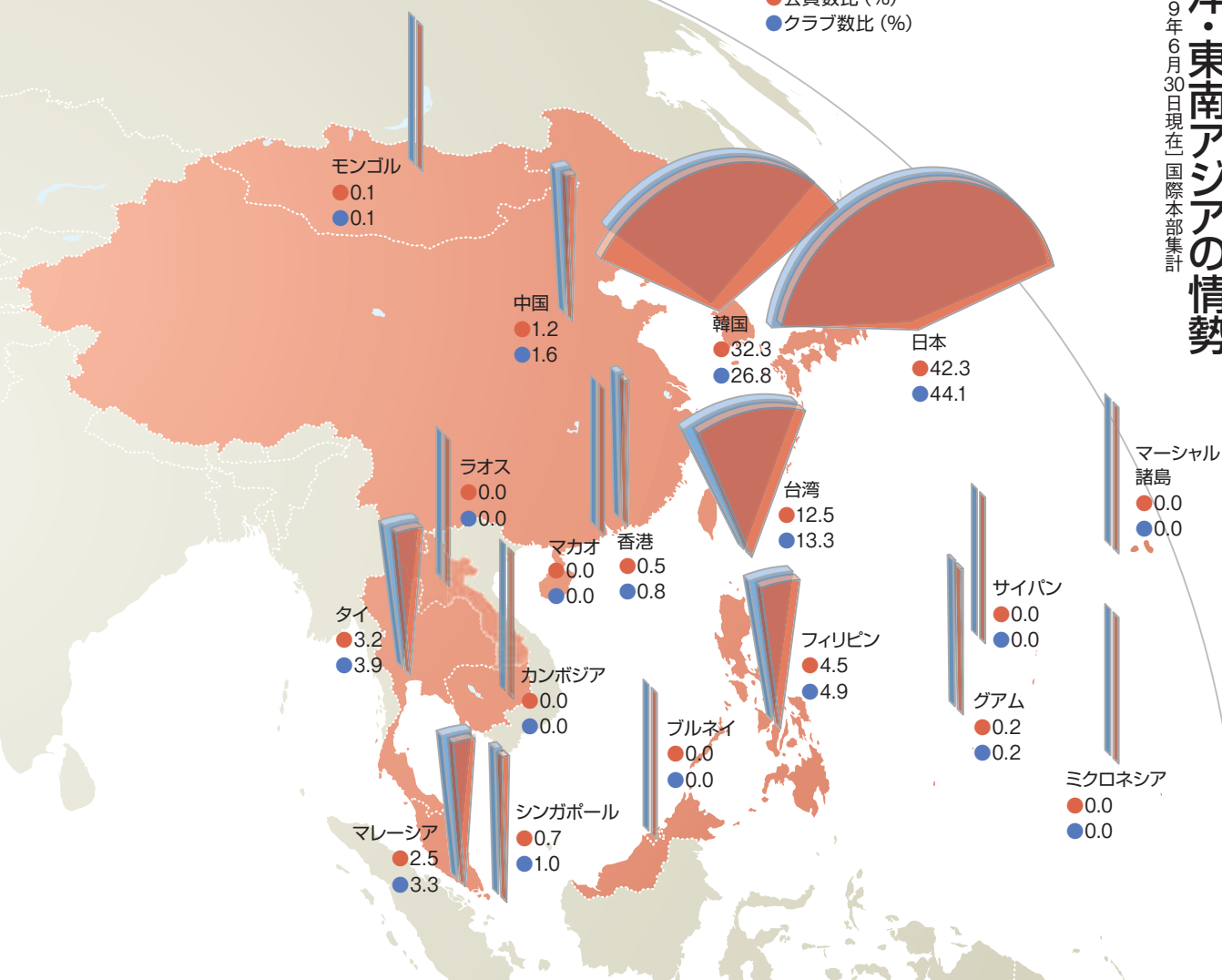
世界と日本のライオンズクラブの情勢、クラブ・アンケート調査結果、アクティビティ年間集計を掲載

各地域の情勢

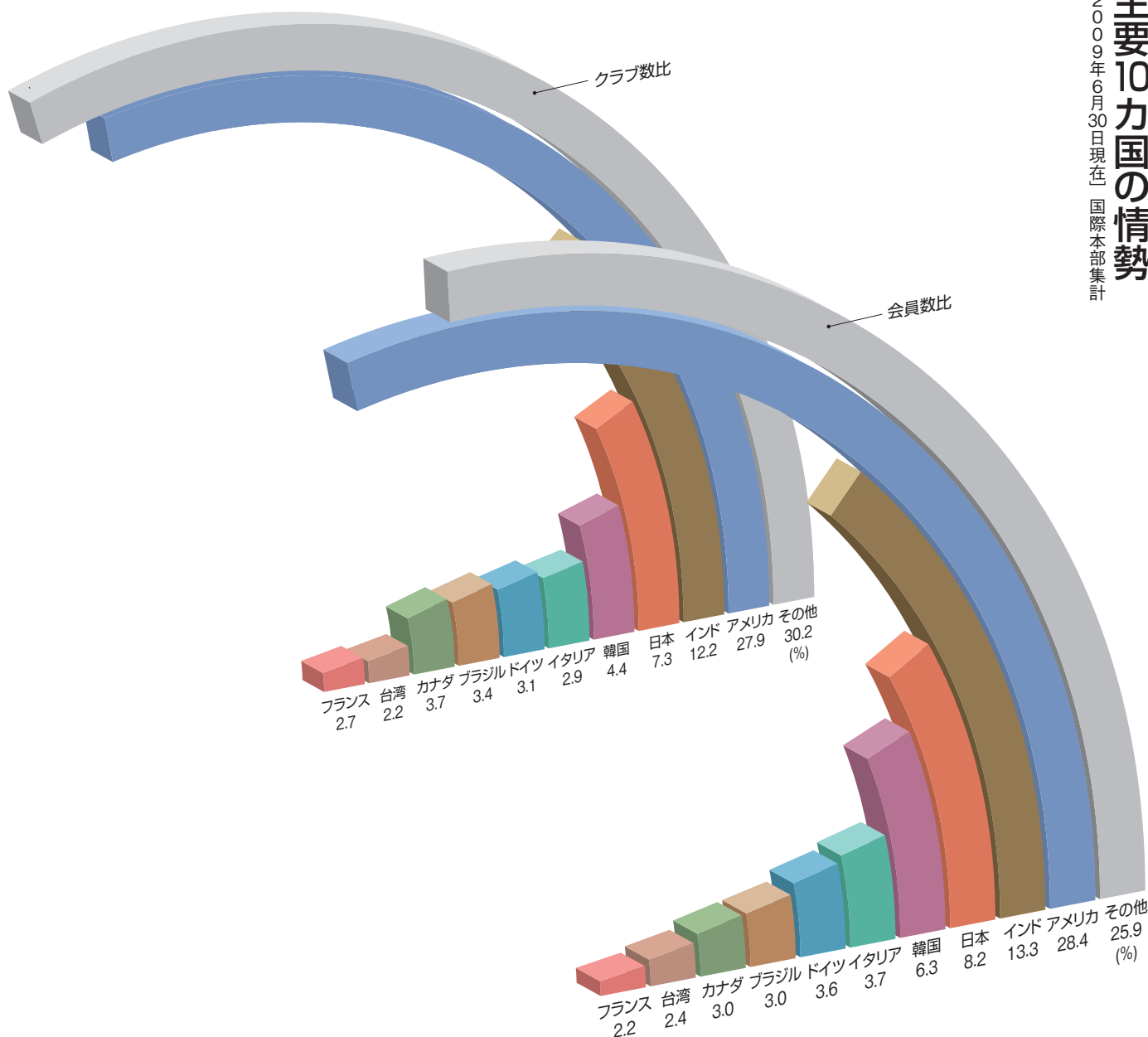
「2009年6月30日現在」国際本部集計

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ及びその周辺	12,865	239	317	−78	28.2	378,333	44,406	52,161	−7,755	28.7
カナダ	1,676	16	31	−15	3.7	39,753	4,381	4,790	−409	3.0
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	3,877	136	156	−20	8.5	94,166	15,918	13,942	1,976	7.1
ヨーロッパ	9,580	161	128	33	21.0	270,341	21,760	23,152	−1,392	20.5
インド・南アジア・アフリカ・中東	8,231	900	352	548	18.0	236,360	60,520	37,474	23,046	17.9
東洋・東南アジア	7,563	225	151	74	16.6	256,949	41,369	43,778	−2,409	19.5
大洋州及びその周辺	1,853	31	41	−10	4.0	43,006	5,854	5,615	239	3.3
合計	45,645	1,708	1,176	532	100.0	1,318,908	194,208	180,912	13,296	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

東洋・東南アジアの情勢

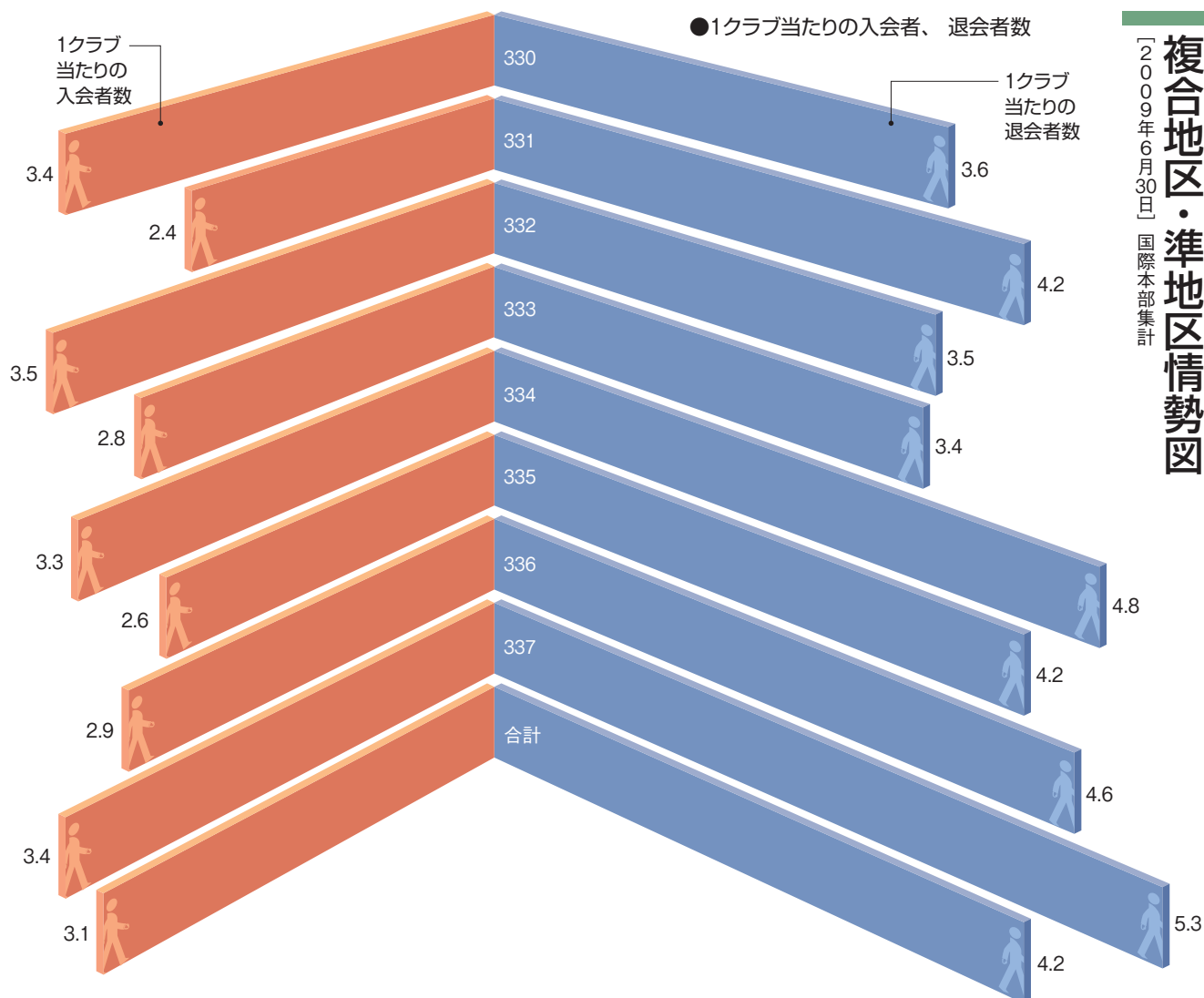
［2009年6月30日現在］国際本部集計

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
グアム	14	0	1	−1	0.2	403	77	57	20	0.2
ミクロネシア	1	0	0	0	0.0	12	0	0	0	0.0
サイパン	3	0	0	0	0.0	35	11	6	5	0.0
マーシャル諸島	1	0	0	0	0.0	18	4	7	−3	0.0
台湾	1,001	30	17	13	13.3	32,183	6,021	6,618	−597	12.5
フィリピン	369	38	13	25	4.9	11,495	3,576	1,970	1,606	4.5
香港	62	2	0	2	0.8	1,378	248	232	16	0.5
マカオ	2	0	0	0	0.0	50	5	4	1	0.0
マレーシア	245	6	3	3	3.3	6,462	873	863	10	2.5
シンガポール	71	0	0	0	1.0	1,727	215	254	−39	0.7
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	35	2	3	−1	0.0
タイ	296	9	6	3	3.9	8,190	1,362	1,569	−207	3.2
日本	3,337	16	62	−46	44.1	108,779	10,303	14,041	−3,738	42.3
韓国	2,025	80	43	37	26.8	82,965	17,084	17,742	−658	32.3
中国	123	42	6	36	1.6	2,974	1,511	385	1,126	1.2
モンゴル	7	2	0	2	0.1	138	74	19	55	0.1
カンボジア	3	0	0	0	0.0	59	3	8	−5	0.0
ラオス	1	0	0	0	0.0	46	0	0	0	0.0
合計	7,563	225	151	74	100.0	256,949	41,369	43,778	−2,409	100.0

主要10カ国の情勢

［2009年6月30日現在］国際本部集計

	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ	12,738	235	316	−81	27.9	373,978	43,863	51,553	−7,690	28.4
インド	5,586	631	197	434	12.2	175,465	43,589	25,571	18,018	13.3
日本	3,337	16	62	−46	7.3	108,779	10,303	14,041	−3,738	8.2
韓国	2,025	80	43	37	4.4	82,965	17,084	17,742	−658	6.3
イタリア	1,314	15	9	6	2.9	49,176	3,644	4,747	−1,103	3.7
ドイツ	1,419	23	1	22	3.1	47,735	2,856	1,978	878	3.6
ブラジル	1,574	56	24	32	3.4	39,757	7,153	5,036	2,117	3.0
カナダ	1,674	16	31	−15	3.7	39,700	4,380	4,788	−408	3.0
台湾	1,001	30	17	13	2.2	32,183	6,021	6,618	−597	2.4
フランス	1,239	15	17	−2	2.7	29,044	2,763	3,201	−438	2.2
その他	13,738	591	459	132	30.2	340,126	52,552	45,637	6,915	25.9
合計	45,645	1,708	1,176	532	100.0	1,318,908	194,208	180,912	13,296	100.0

＊年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

［2009年6月30日］国際本部集計

複合地区・準地区	クラブ数	クラブ増減	会員数	会員増減	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数
330-A	200	−6	5,395	205	4.7	3.6	27.0
330-B	188	−4	5,160	−75	3.1	3.5	27.4
330-C	102	−2	2,644	−194	1.6	3.5	25.9
小計	490	−12	13,199	−64	3.4	3.6	26.9
331-A	77	0	2,644	−100	3.3	4.6	34.3
331-B	91	−2	2,589	−182	1.7	3.7	28.5
331-C	59	−2	1,842	−114	2.5	4.5	31.2
小計	227	−4	7,075	−396	2.4	4.2	31.2
332-A	68	−1	1,846	−148	1.7	3.9	27.1
332-B	55	0	2,110	380	10.8	3.9	38.4
332-C	79	−4	1,487	−95	1.4	2.6	18.8
332-D	77	0	2,056	−59	2.4	3.2	26.7
332-E	58	0	1,885	−49	2.9	3.8	32.5
332-F	52	0	1,363	−10	3.7	3.9	26.2
小計	389	−5	10,747	19	3.5	3.5	27.6
333-A	79	−1	2,889	−144	2.4	4.2	36.6
333-B	57	0	1,415	−8	1.9	2.1	24.8
333-C	134	−1	3,523	−71	2.6	3.1	26.3
333-D	57	2	2,127	71	5.0	3.8	37.3
333-E	82	1	2,965	−97	2.8	4.0	36.2
小計	409	1	12,919	−249	2.8	3.4	31.6

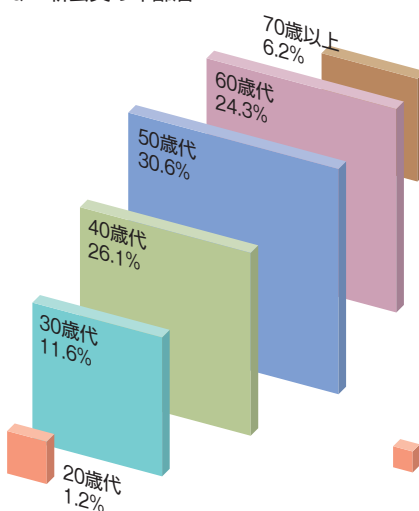
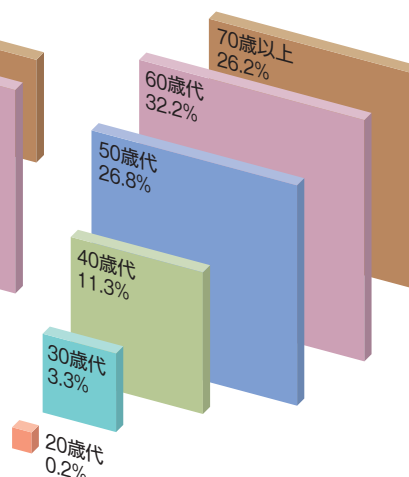
複合地区・準地区	クラブ数	クラブ増減	会員数	会員増減	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数
334-A	120	1	5,558	−208	3.4	5.2	46.3
334-B	85	−3	3,826	−98	4.3	5.5	45.0
334-C	83	−1	3,255	−116	2.8	4.2	39.2
334-D	99	−2	4,111	−177	2.8	4.6	41.5
334-E	53	0	2,141	−78	2.8	4.2	40.4
小計	440	−5	18,891	−677	3.3	4.8	42.9
335-A	105	−4	2,766	−125	2.6	3.8	26.3
335-B	204	0	6,300	−422	2.7	4.7	30.9
335-C	122	−1	4,189	−217	2.1	3.9	34.3
335-D	67	1	2,156	−24	3.4	3.7	32.2
小計	498	−4	15,411	−788	2.6	4.2	30.9
336-A	155	−1	5,910	−278	3.0	4.8	38.1
336-B	97	−2	3,300	−249	2.5	5.1	34.0
336-C	105	1	3,799	−116	3.1	4.2	36.2
336-D	105	−2	3,371	−140	3.0	4.3	32.1
小計	462	−4	16,380	−783	2.9	4.6	35.5
337-A	118	−2	4,547	−198	3.5	5.2	38.5
337-B	80	−5	2,428	−227	3.3	6.2	30.4
337-C	85	−1	3,004	−137	3.5	5.1	35.3
337-D	139	−5	4,178	−238	3.4	5.1	30.1
小計	422	−13	14,157	−800	3.4	5.3	33.5
合計	3,337	−46	108,779	−3,738	3.1	4.2	32.6

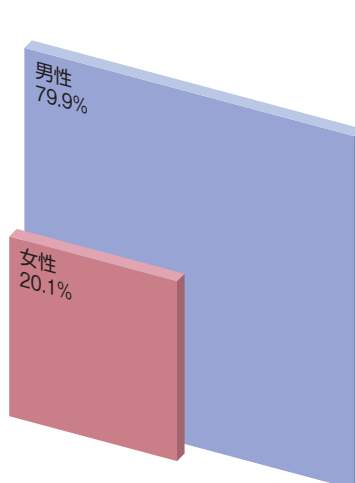
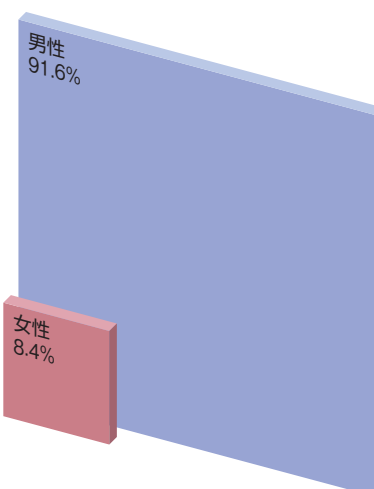
入退会者調査

［2009年9月～10月］ライオン誌日本語版事務所集計

調査時期／2009年9月25日～10月15日
調査対象／全国 3,366クラブ
回答数／1,757クラブ
回収率／52.2%
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度（2008-09年度）中に入会した会員の年齢層

1. 20歳代 ……………………………1.2%
2. 30歳代……………………………11.6%
3. 40歳代……………………………26.1%
4. 50歳代……………………………30.6%
5. 60歳代……………………………24.3%
6. 70歳以上 …………………………6.2%

Q2. 昨年度（2008-09年度）中に退会した会員の年齢層

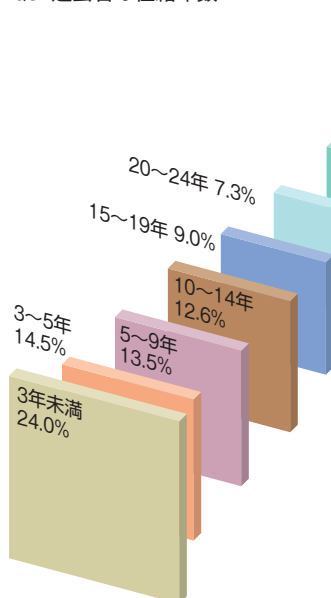
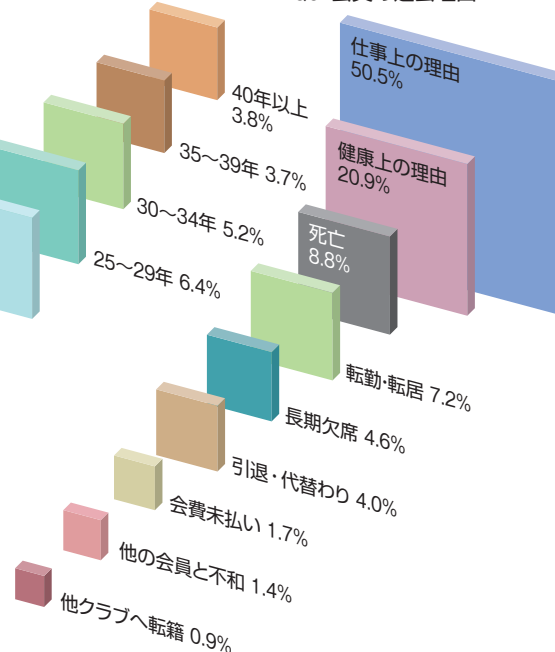
1. 20歳代 ……………………………0.2%
2. 30歳代 ……………………………3.3%
3. 40歳代……………………………11.3%
4. 50歳代……………………………26.8%
5. 60歳代……………………………32.2%
6. 70歳以上…………………………26.2%

Q3. 昨年度（2008-09年度）中に入会した会員の性別

1. 男性………………………………79.9%
2. 女性………………………………20.1%

Q4. 昨年度（2008-09年度）中に退会した会員の性別

1. 男性………………………………91.6%
2. 女性 ………………………………8.4%

Q5. 昨年度（2008-09年度）中に退会した会員の在籍年数

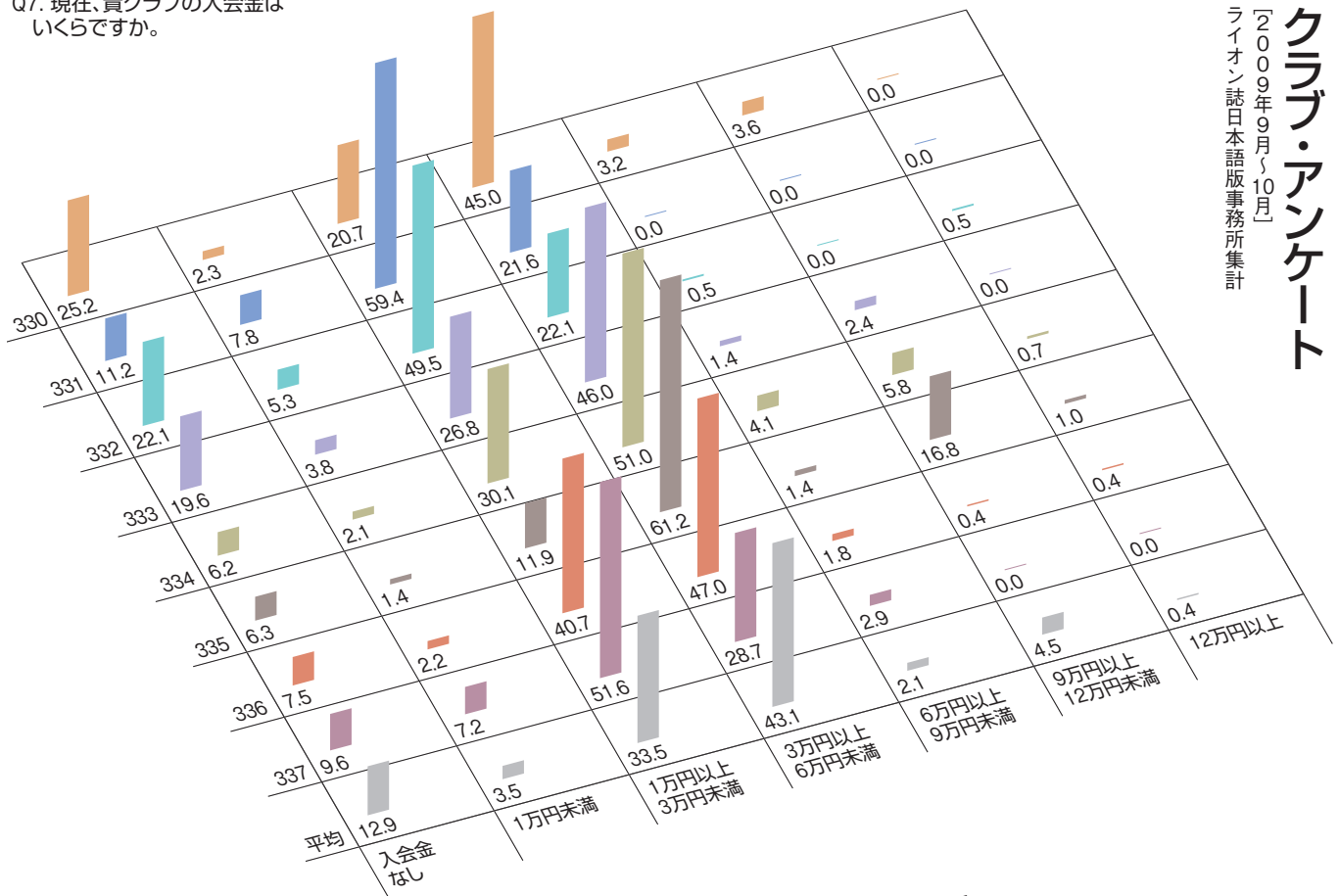
1. 3年未満 …………………………24.0%
2. 3～5年 …………………………14.5%
3. 5～9年 …………………………13.5%
4. 10～14年 ………………………12.6%
5. 15～19年…………………………9.0%
6. 20～24年…………………………7.3%
7. 25～29年…………………………6.4%
8. 30～34年…………………………5.2%
9. 35～39年…………………………3.7%
10. 40年以上 …………………………3.8%

Q6. 昨年度（2008-09年度）中に退会した会員の退会理由

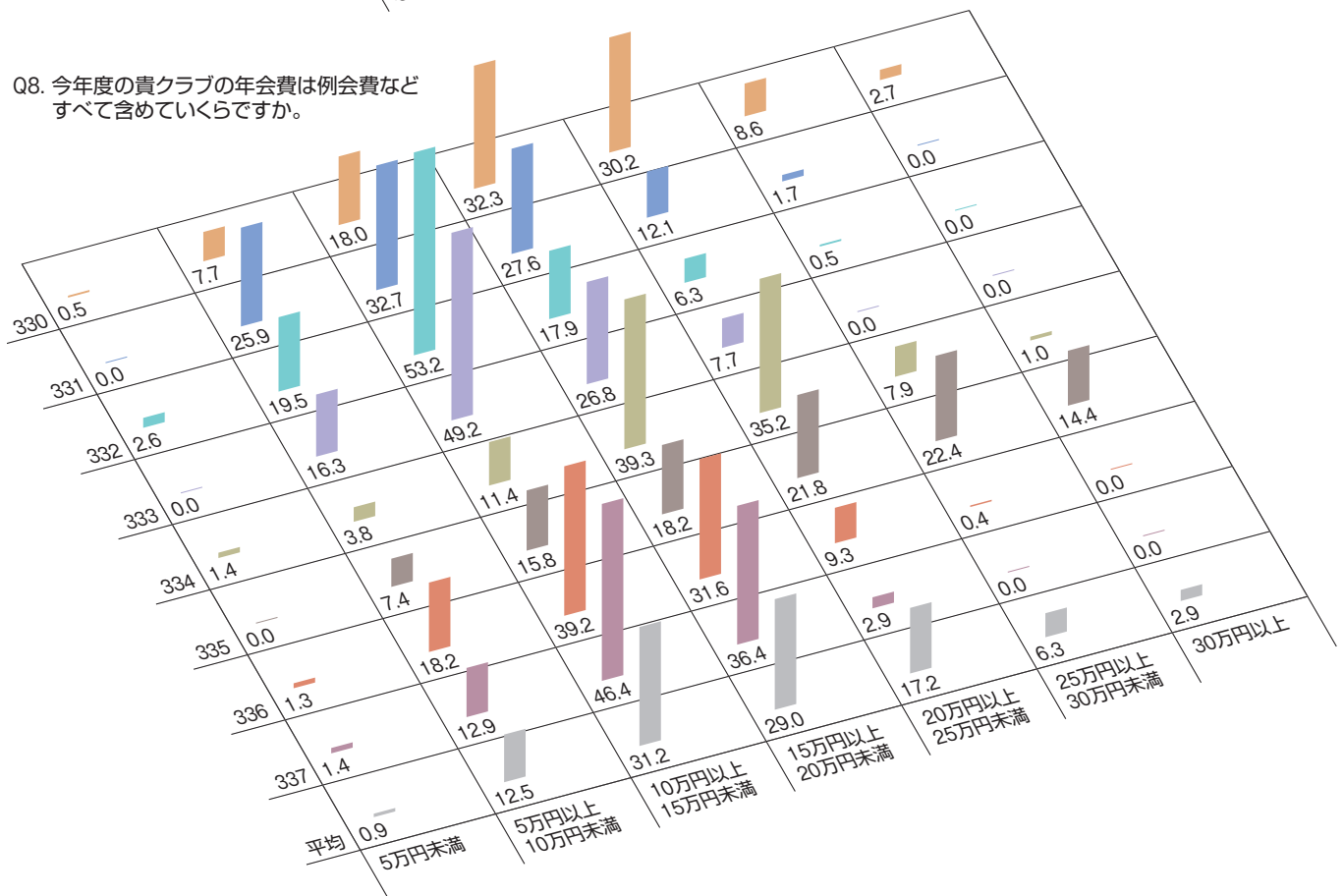
1. 死亡 ………………………………8.8%
2. 健康上の理由……………………20.9%
3. 仕事上の理由……………………50.5%
4. 長期欠席 …………………………4.6%
5. 他の会員と不和 …………………1.4%
6. 他クラブへ転籍 …………………0.9%
7. 転勤・転居 ………………………7.2%
8. 引退・代替わり …………………4.0%
9. 会費未払い ………………………1.7%

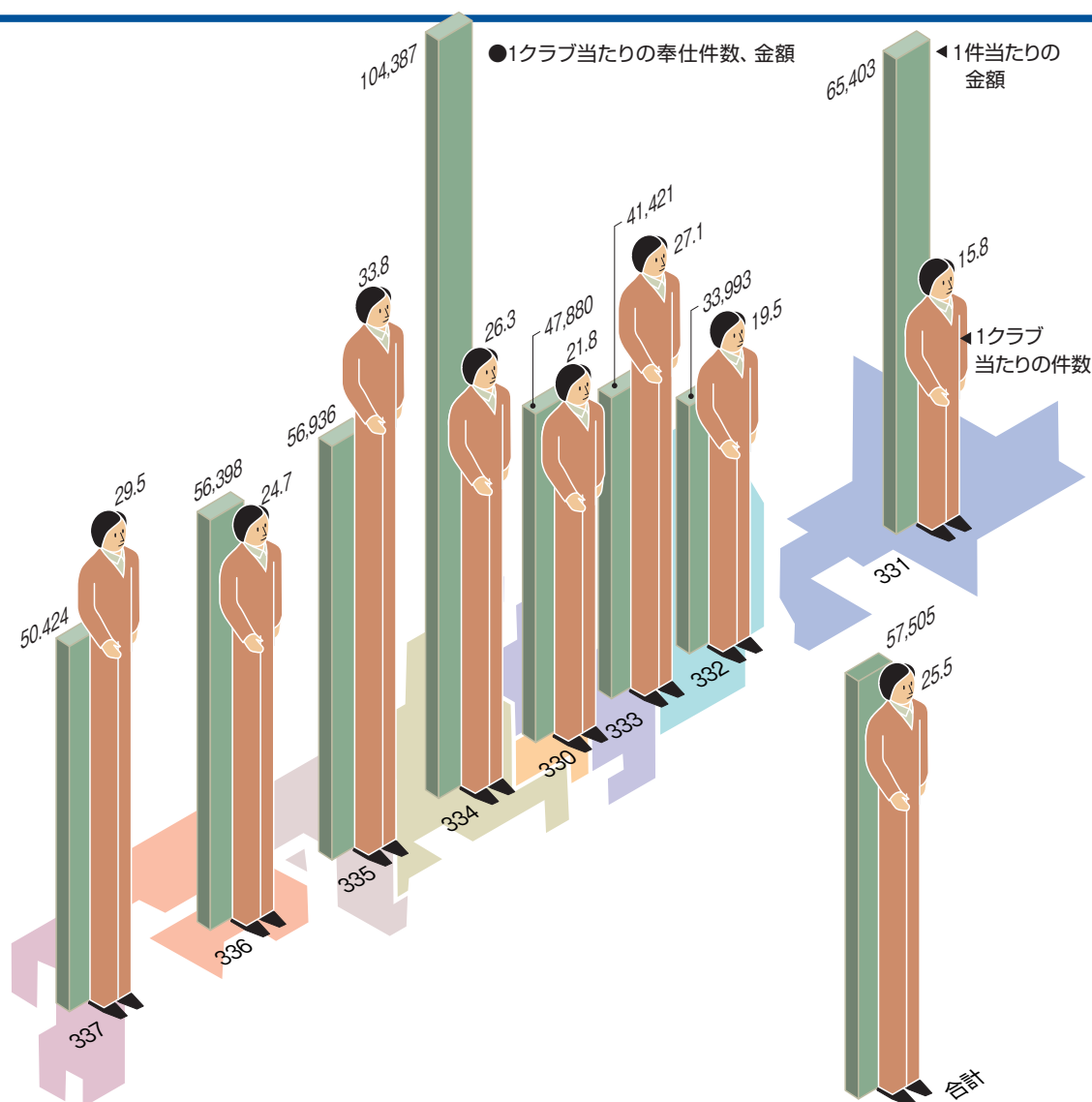
Q1. 新会員の年齢層

70歳以上 6.2%
60歳代 24.3%
50歳代 30.6%
40歳代 26.1%
30歳代 11.6%
20歳代 1.2%

Q2. 退会者の年齢層

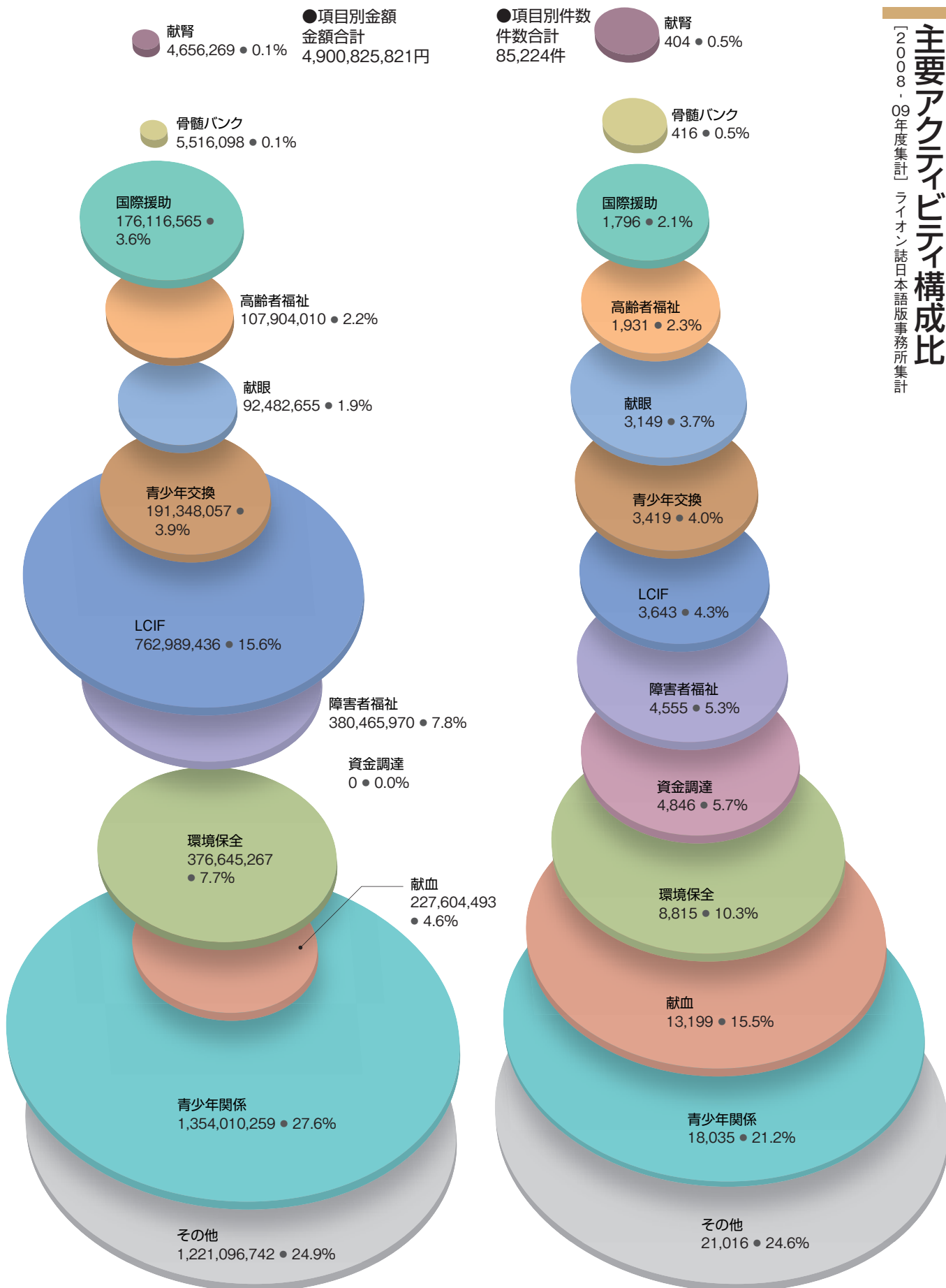
70歳以上 26.2%
60歳代 32.2%
50歳代 26.8%
40歳代 11.3%
30歳代 3.3%
20歳代 0.2%

クラブ・アンケート

［２００９年９月～10月］
ライオン誌日本語版事務所集計

アクティビティ地区別構成比

［2008－09年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	3,677	18.4	232,643,675	63,270
	330-B	4,901	26.1	199,468,725	40,700
	330-C	2,080	20.4	78,197,408	37,595
小計		10,658	21.8	510,309,808	47,880
331	331-A	1,276	16.6	125,780,193	98,574
	331-B	997	11.0	69,967,369	70,178
	331-C	1,317	22.3	39,048,561	29,650
小計		3,590	15.8	234,796,123	65,403
332	332-A	982	14.4	49,208,140	50,110
	332-B	1,108	20.1	44,708,712	40,351
	332-C	1,881	23.8	48,754,418	25,919
	332-D	1,568	20.4	49,272,388	31,424
	332-E	1,380	23.8	49,163,659	35,626
	332-F	663	12.8	16,625,569	25,076
小計		7,582	19.5	257,732,886	33,993
333	333-A	2,070	26.2	82,047,292	39,636
	333-B	994	17.4	47,427,443	47,714
	333-C	3,885	29.0	156,483,914	40,279
	333-D	1,532	26.9	59,379,756	38,760
	333-E	2,617	31.9	114,351,557	43,696
小計		11,098	27.1	459,689,962	41,421

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
334	334-A	3,019	25.2	529,748,971	175,472
	334-B	2,368	27.9	252,900,574	106,799
	334-C	1,712	20.6	111,986,688	65,413
	334-D	2,860	28.9	188,156,790	65,789
	334-E	1,592	30.0	122,977,979	77,247
小計		11,551	26.3	1,205,771,002	104,387
335	335-A	3,515	33.5	178,253,560	50,712
	335-B	6,286	30.8	429,060,158	68,256
	335-C	5,501	45.1	267,912,272	48,702
	335-D	1,550	23.1	84,260,171	54,361
小計		16,852	33.8	959,486,161	56,936
336	336-A	4,597	29.7	220,442,203	47,953
	336-B	1,827	18.8	122,657,653	67,136
	336-C	2,716	25.9	195,548,231	71,999
	336-D	2,286	21.8	105,756,556	46,263
小計		11,426	24.7	644,404,643	56,398
337	337-A	4,841	41.0	268,657,775	55,496
	337-B	2,242	28.0	94,127,158	41,984
	337-C	1,822	21.4	96,018,956	52,700
	337-D	3,562	25.6	169,831,347	47,679
小計		12,467	29.5	628,635,236	50,424
合計		85,224	25.5	4,900,825,821	57,505

主要アクティビティ構成比

［2008・09年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

ナンバー1・オンリー1 クラブ編

「ライオン・スピリット」を全国に

高知桜ライオンズクラブ

「ライオン・スピリット」の歌をご存じだろうか？　英語の曲名は"I've got that Lion Spirit"。『ライオンズ必携』に英語の歌詞と楽譜が掲載されている。日本で歌われることは少ないが、国際大会やOSEALフォーラム、海外クラブの催しでは耳にした人もいるだろう。「私にはライオンズ精神が宿っている」という歌詞に合わせ、両手を頭、胸、足へ動かす身振りをつけて歌われる。

高知桜ライオンズクラブ（二宮邦江会長／38人）のメンバーたちは、韓国の姉妹クラブの面々が楽しそうに歌う姿を見て「私たちも歌いたい！」と思った。でも英語のままでは難しい。そこで「それなら自分たちで日本語に」と翻訳に挑戦。軽快なリズムにぴったりの日本語訳を完成させ、今年3月の結成15周年記念例会で初披露した。会は大いに盛り上がり、一緒に歌ってもらったビジターにも大好評だった。

「明るい曲で、振り付けも簡単。歌って身体を動かすことで気持ちが明るくなるし、会に活気が生まれます」（二宮会長）。「ライオンズの精神が込もっている歌。これを歌うとみんなの心が一つになるんです」（井上祐鳳幹事）。一度聞いたら耳を離れなくなるシンプルなメロディーで、口ずさめば自然に笑みがこぼれてくる「ライオン・スピリット」。高知桜ライオンズクラブは今、この日本語版を全国のライオンズに広めたいと熱く燃えている。楽譜入りの歌詞カードなど用意しているので、「ぜひ歌ってみたい！」というクラブはご連絡を。

●高知桜ライオンズクラブ事務局：電話・ファクス088・873・1822
Eメール：k-sakura@alto.ocn.ne.jp

50年目を迎えた継続アクティビティ

愛媛県・松山ホスト ライオンズクラブ

「継続は力なり」。「チェンジ」がもてはやされる昨今だが、この夏に第50回目を迎えた松山ホスト ライオンズクラブ（丸山俊明会長／42人）の肢体不自由児療育キャンプは、継続することの真の意義を教えてくれる。

この「ふれあいキャンプ」では、身体に障害を持つキャンパーと学生を中心としたボランティア、ライオンズが力を合わせ、さまざまな体験を通じて友情を育み、共に学び合っている。障害児への支援というだけでなく、リーダーとして企画から運営までを担う学生ボランティアたちが成長する場ともなっているのが、その大きな特徴だ。

今年は松山市の沖、瀬戸内海に浮かぶ興居島を会場に8月1日から3日の2泊3日で行われ、過去最多の140人が参加した。キャンプ村の村長を務めたのは、45年前は障害児キャンパーの一人だった丸山会長だ。当時小学生だったライオン丸山は「将来このキャンプにかかわっていきたい」という思いを抱き、やがてリーダーとなり、ライオンズ会員となった。

「今年は中高校生のボランティアが大勢参加してくれました。彼らが大変よく動いてくれ、その意識の高さに感心しました。今年参加してくれた障害児キャンパーの中からリーダーが生まれ、このキャンプが末長く続くことを願っています」。丸山村長は今年のキャンプの成果をこう振り返る。「今年は昨年以上のアクティビティに」。一年一年積み重ねてきたその思いが、継続事業を実り豊かなものにしている。

献眼日本一の町支えるライオンズ

静岡県・小山ライオンズクラブ

富士の高嶺を間近に望む小山町は、日本一の献眼の町。亡くなった町民の約3割が献眼するというから驚くばかり。その立役者が1965年結成の小山ライオンズクラブ（込山功次会長／26人）である。クラブは5周年記念事業として会員全員で献眼登録し、これを機に町民への啓発活動に取り組んだ。まず行ったのが手分けして各戸に説明して回るローラー作戦。ライオンたちの情熱と誠意で、献眼に誤解や偏見を抱えていた町民にも理解が広まっていった。

現在、小山町の献眼者は年50人を超える。献眼登録者ばかりでなく、未登録の方の遺族が献眼を申し出ることも多い。クラブはその志に感謝しつつ、万全の受け入れ態勢を整えている。献眼の連絡はクラブ事務局に入り、平日は事務局員が電話を受け、土日や時間外にはアイバンク委員長宅に転送される。その後、摘出医の出迎えから提供に至るまでに必要な役割には、アイバンク委員会を中心に全会員が協力して当たっているのだ。小山ライオンズクラブには今年、日本で最初の角膜移植手術を行った今泉亀撤教授に因んだ今泉賞が贈られた。今年創設されたこの賞は2個人、2団体に贈られ、ライオンズからは長く献眼推進に貢献してきたライオン勧山弘（静岡県・沼津ライオンズクラブ）も受賞されている。

出席100％はクラブの誇り

山口ライオンズクラブ

「我がクラブ会員全員の大きな誇りです」。山口ライオンズクラブ（川久保賢隆会長／68人）の川久保会長がそう胸を張るのは、27年間にわたる例会出席率100％の実績だ。

例会出席は当然ながら会員の義務だが、全うするのは容易ではない。全員そろってとなれば、並大抵の努力ではないはずだ。100％実現のため、クラブはさまざまに知恵を絞ってきた。まず、新会員には入会式で100％の誓いを読み上げてもらう。全員の前で宣誓することで、出席の義務が強く心に刻まれる。そして会員それぞれに努力するのはもちろん、例会から13日以内に常設委員会や理事会を開催し、正しいメークアップが出来る環境も整えている。最も重要なのは、出席が楽しくなるような参加型の例会作り。計画委員会を中心にライオン・テーマー、テール・ツイスターが例会を盛り上げる。出席率向上の秘訣を探りに、例会訪問してみてはいかが？

●例会日：第1木曜日12時半～、第3木曜日18時半～
会　場：ホテルかめ福

生演奏に乗せて　声高らかに

大阪府・八尾中央ライオンズクラブ

カラオケの経験はあっても、生の楽器演奏をバックに歌う機会はそうあるものではない。八尾中央ライオンズクラブ（中江伊佐男会長／50人）では例会ごとに、生演奏に乗せて歌っている。クラブ結成間もない35年前、ちょうどトランペットを習い始めていたライオン上古代靖信がクラブ会長に伴奏を申し出たのが始まり。トリオで演奏したこともあったが、現在はテナーサックスのライオン林三男と二人で担当している。

「今思えば誠に汗顔の至り。最初の頃は間違って音が飛んでしまったりして、それでも我がクラブのメンバー方はニヤっとするだけで、私のラッパから次の音が出てくるのを待ってくれました」とライオン上古代。キャリア35年を誇る生伴奏に乗って「また会う日まで」を歌ってみたい方、八尾中央ライオンズクラブ例会へどうぞ。

●例会日：第2・第4木曜日16時15分～
会　場：八尾商工会議所

空港拠点に　独自の活動

新潟エアポート ライオンズクラブ

「空港」「エアポート」をクラブ名に冠するクラブは日本に四つ（千葉県・成田エアポート、新潟エアポート、徳島県・松茂徳島空港、香川県・高松空港）。このうち名実共に空港を拠点とするのが新潟エアポート ライオンズクラブ（姉崎聖二会長／19人）。新潟空港は環日本海に開けた国際空港。クラブは2006年に空港周辺を活動地域に結成され、事務局は空港ビル3階、例会場は有料待合室で開いている。姉崎会長は「滑走路から飛び立つ飛行機を眺めながらの例会は爽快そのもの」と言う。

アクティビティの場も空港だ。まず空港ならではなのが、外国コインを回収してユニセフに送る運動。そして毎年春、夏、秋に空港ビルが開くフェスタでは、ライオンズ・ブースで献血や献眼登録の受付にPR活動を行う。ま

た今年度からは、鈴木正春幹事の粘り強い働き掛けで地域の祭が空港公園で開かれることになった。クラブはブース設置に加え、飲食物の販売で事業資金獲得にも努めている。更にユニークなところでは、青少年育成を目的としたチャリティー囲碁大会を空港ロビーで開催。地域の多くの囲碁愛好者に参加協力を得ている。クラブの特性を存分に生かして活動する空港クラブ。新潟空港利用の折にはぜひお立ち寄りを。

●例会日：第1・3火曜日12時半～
　会　場：新潟空港ビル2階有料待合室

大阪城を一望する クラブ事務局

大阪東、大阪ヴァイオレット ライオンズクラブ

「クラブ事務局からの眺めは日本一！いや世界一！」と言うのは、大阪東ライオンズクラブ（小嶋成夫会長／48人）の岩瀬保彦PR・IT委員長。ホテルニューオータニ大阪6階に、大阪ヴァイオレット ライオンズクラブと合同の事務局がある。

大きな窓から眼前に180度広がるのは、広々とした空と大阪城公園の眺め。梅、桜、紅葉が四季折々に目を楽しませ、2月には開いた窓から梅の香りが流れ込む。眼下には中之島から流れる寝屋川に浮かぶ遊覧船の姿も見える。そして何よりすばらしいのが夕景。冬になると大阪城の真横に夕陽が沈んでいく。ほぼ1日中、パソコンに向かって仕事をする事務局員にはこの上ない目の保養だという。事務局への来訪者からは、窓からの眺めに感嘆の声が上がるのだそう。

事務局は町の歴史伝える 名建築に

北海道・小樽市内5クラブ

明治期に国際貿易港として発展し、「北のウォール街」と呼ばれる銀行街を形成した小樽。色内町一帯には今も明治から大正、昭和初期に建った近代建築が数多く残っている。そのレトロな雰囲気は、多くの観光客を引きつける小樽の魅力の一つ。小樽市では当時最先端の技術や洗練されたデザインを施した建物を文化遺産とし、31棟を小樽市歴史的建造物に指定している。

その一つ、1937（昭和12）年築の松田ビル（旧三井物産小樽支店）に、小樽市内5クラブ（小樽、小樽中央、小樽みなと、小樽グリーン、小樽うしお）が事務局を置く。戦前の事務所建築の代表作と言われるこのビルは、一見何の変哲もないオフィスビルだが、玄関ホールの大理石や背の高い幾何学デザインのドアが当時をしのばせる。小樽ライオンズクラブ（清水紀雄会長／38人）の増田通彦PR情報委員長によると、62年8月にそれまで間借りしていた事務局を晴れて松田ビルに構え、以来スポンサーしたクラブが入居したとのこと。アンティークと呼べそうな手動式エレベーターに、カメラを向ける観光客の姿も見られるそうだ。

ナンバー1・オンリー1会員編

例会皆出席1150回

佐藤利作
宮城県・古川古城ライオンズクラブ

ライオン佐藤利作（元地区ガバナー）は、1961年12月23日の入会以来48年間、例会の実出席を続けている。ライオン佐藤は92歳になった今も身体のケアは怠りない。現在は毎週火曜日の午前中、ライオン佐藤が中心となって結成したヨガ愛好会の仲間約80人と共に、ヨガを通して心と体の鍛錬に励んでいる。1988-89年度地区ガバナー在任中、公式訪問の折に各クラブへの記念品として手製の竹踏みを寄贈したというライオン佐藤は、「健康はウィ・サーブの原点。健康なくしてアクティビティもかなわず、会員としての職責を果たすこともかなわない」と語る。

日本一の長寿会員

嶋田シカ
長崎県・諫早センチュリアン ライオンズクラブ

ライオン嶋田シカは1898（明治31）年7月7日生まれの111歳。ライオン嶋田は「100歳を超えて健康でいられるのは、多くの方々のおかげと思い、この感謝の気持ちを具体的に示したいと考えている時にライオンズクラブのお誘いがあり、『これだ！』と思って108歳の時に入会させてもらいました」と話す。そのスポンサーとなったライオン出口喜男（長崎県・諫早ライオンズクラブ）は「シカさんの好物はうなぎ、刺身、茶碗蒸し。新聞や雑誌も読んでいる。現在、入院をされているが、病院内のホールが例会場になっているので、体調を見て例会に出席されることもある。会員も、また県民も、シカさんのようにお元気で長生きすることを目標にしている」と話す。

ライオンズ体操で健康づくり

小林しのぶ
熊本ライオンズクラブ

藤山みどり
熊本県・荒尾ライオンズクラブ

本誌3月号クラブ・リポートで紹介した荒尾ライオンズクラブの「ライオンズ健康体操」が、全国デビューを果たした。舞台は9月30日に開催された「2009フィットネスダンス全国大会」。大会にはライオン藤山みどりとライオン小林しのぶの母娘が出場、惜しくも大賞は逃したものの、フィットネスダンス賞を受賞すると共に、全国の体育指導者に向けてライオンズクラブの歌に合わせたオリジナルの健康体操を披露した。

お二人はいずれも、日本健康運動と健康体操の指導士で、「ライオンズ健康体操」は荒尾ライオンズクラブの例会で取り組むために振り付けをしたものだが、最近はライオンズクラブ以外にも

広がる動きを見せているという。振り付けを考案したライオン小林は、

「これからも心と体の健康づくりのお手伝いが出来るよう、ライオンズ健康体操を進化させてがんばっていきたいと思っています。ライオンズ・ヒム版もあるので、そちらもかわいがってもらえるとうれしいです」

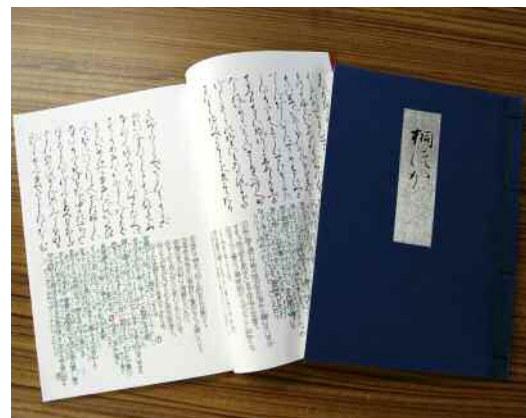
と話している。

情熱込めた『源氏物語』54帖

橋本武

兵庫県・神戸生田ライオンズクラブ

神戸生田ライオンズクラブから「我がクラブのナンバー1」と推薦があったのが、ライオン橋本武。現在満97歳、ライオン歴38年。例会には今も毎回出席され、茶目っ気と独特のおしゃれ感覚で、クラブのメンバーに親しまれている。

ライオン橋本は進学校で知られる灘高校の国語教師として50年勤務。退職後も、古典に対する情熱はいささかも衰えず、85歳にして『源氏物語』の現代語訳に挑戦された。「残された時間を、日本が世界に誇る源氏物語の訳に費やそう」と、9年余の歳月を費やして、２００６年、94歳の時に全54帖を完訳した。更にそれを和綴じ本にして灘高校に寄贈。その和綴じ本は、原文を上半分に古写本の草書名体、下半分に楷書で書き写し、楷書の行間に現代語訳を色ペンで入れるという丁寧な技法で作成されている。

首相官邸を飾る芸術作品

安富より子

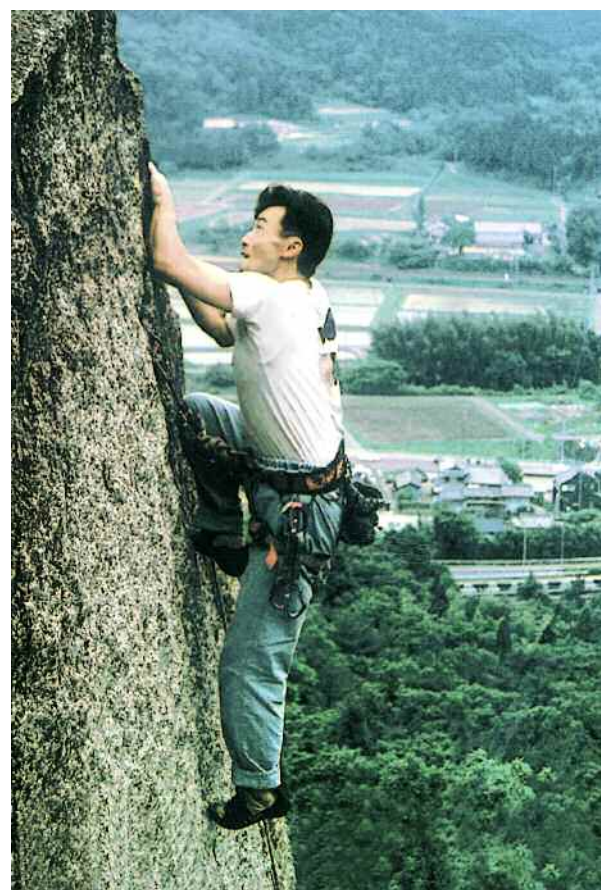
香川県・高松東ライオンズクラブ

小泉純一郎元首相が現職時代、日本の絵画や書を官邸に展示することを提

案。これに各種団体が協力して作品を提供、首相官邸を訪れる人たちの目を楽しませている。また、首相の「ぶら下がり会見場」にも飾られ、テレビを通じてそれらの作品が国民の目に触れることとなった。その一つ『羅浮の夢』は、ちぎり絵作家であるライオン安富より子の作品で、日本和紙ちぎり絵協会を通じて貸し出された。ライオン安富によると、「和紙ちぎり絵の歴史はまだ50年足らずですが、日本古来の手漉き和紙を手でちぎって絵にするという、他国にない日本固有の文化、芸術を官邸で取り上げて頂いたのだと思います」と話している。

世界の壁に挑む冒険野郎

小野木巧
岐阜県・各務原クローバーライオンズクラブ

ライオン小野木巧は20代前半から登山に目覚め、1998年、38歳の時に、より創造的なクライミングを目指し、仲間と新しいクラブを結成。アメリカ、カナダ、パキスタンなどのビッグウォール（800～千メートルの一枚岩）への挑戦を始めた。中でも99年に挑戦した、北極圏に位置する「白夜のクライミング天国」カナダ・アンクライマブルズ圏谷では、辺境の地でしか味わえないさまざまな出来事に遭遇、最も印象深いチャレンジになったという。更に国内ではアイスクライミング・エリアの開拓なども手掛け、2000年には標高3076メートルの御嶽山西面流域における冬期初登（氷瀑登攀）を成し遂げた。現在も、夏期冬期を通して日本・海外の岩場などで登攀をする傍ら、山岳救助活動にも出向いている。冒険野郎・ライオン小野木は、「冒険にはギャンブル的要素をはらんでいることもありますが、そこに至るまでの用意周到な準備がなければ、ただの無謀になってしまいます。私は常に、不測の事態に遭遇しても生きて帰ってくる術を鍛えることが重要だと考え行動しています。『冒険』で死の入り口の向こう側へ行くことだけはしたくないものです」と語っている。

ＪＲ全駅下車に挑戦中

樋川俊夫
山梨県・甲府東ライオンズクラブ

前原誠司国土交通相も筋金入りの鉄ちゃんとして知られるが、鉄道ファンのことを「鉄ちゃん」「鉄子」などと呼ぶ。が、一口に鉄道ファンと言うものの、実は路線派、駅舎派、風景派、車両派などに分かれる。ライオン樋川俊夫はそのうちの路線派（駅）だという。「国鉄からＪＲの転換を前に、存続する全線を乗りつぶしました。平成に変わり、廃線の兆候も一段落したので、今度は全駅下車を試みることにしました。全部で４６００余の駅があります。長期休暇は難しいので、土日に青春18切符を使い近場から挑戦を始めました」。ただ、ローカル線の場合、本数が極端に少ない路線もある。いったん降りてしまうと、次の列車まで３～４時間も開いてしまう。そのため時刻表と地図を見比べながら、10キロ程度なら次の駅まで歩き、折り返し列車を待つ。これを繰り返し、現在、本州・四国全駅、九州80％、北海道30％の駅に降り立った。残り３５０駅だという。「いつかどこかの駅で、白髪混じりのオジサンがとぼとぼ乗降を繰り返していたら、私だと思ってください」とライオン樋川。

永遠のラジコン少年

長谷川米茂
北海道・名寄ライオンズクラブ

「気分はトップガン」「みんなラジコンが好きだった」。世代は違うが、そんな『ポパイ』風キャッチコピーを付

けたくなるライオン長谷川米茂。御年80歳、ラジコン歴50年という、「ラジコン大好き『少年』」だ。格納庫には、自慢のラジコン飛行機が数十機保管されている。それぞれが、実機の5分の1、あるいは6分の1の大きさで作られているため、かなりデカイ。しかも、すべて実際に大空を飛ぶわけだから、きちんとした精度でもって製作しなくてはならない。機体はなるべく軽くするため、バルサ材を使用。それに草刈機のエンジンを積み、ラジコンを搭載してコントロールする。ライオン長谷川は「時速80キロでビューンと飛ぶスピード感が魅力」と語る。それにしても、50年もの長きにわたり、少年のように目を輝かせて一つの趣味にのめり込むところがすごい。これまで2回、ラージスケールの世界選手権に出場し、2000年のスイス大会ではスタティック（静止状態）部門で日本人初となる3位入賞を果たしている。また、06年には国内最高峰の大会であるスケールモデル日本選手権を名寄市に誘致。手作りの温かい運営で、大会を成功に導いた。

日本一の低い山を守る

井上武
徳島中央ライオンズクラブ

2002年6月1日、徳島市にある弁天山の山開きに大勢のマスコミが取材に押しかけ、その模様が全国的に報道された。弁天山は標高6・1メートル。自然の山としては日本一低いことが、国土地理院により認定されている。6月1日の山開きは、標高6・1メートルにちなんだもの。その仕掛け人が、弁天山保存会会長を務めるライオン井上武である。

「弁天山は地域の『お宝』」との思いから、多分に遊び心で山開きを企画しました。当日は新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などさまざまなメディアが来られ、取材ヘリも飛んで、その反響に驚いてしまいました」と語る。その後、有名になった弁天山には、多くの登山客が訪れるようになった。中には田部井淳子氏ら世界的な登山家や、日本一高い富士山に登ったから今度は日本一低い弁天山にという方など老若男女が、全行程25歩の山登りを楽しんでいる。ライオン井上の遊び心で始まった企画だが、いまや格好の町おこしになっているようだ。

幹事・会計必読！

2010年1月から国際協会への送金方法が変更となります

5連式振込用紙による

文書振込から

ATMやインターネットバンキングによる

電信振込へ

振込金受取書 № 104526

振込通知書 № 104526

依頼書 № 104526

みずほ銀行本店 文書扱

口座番号 1167853

ライオンズクラブ国際協会

【写真1】

振込手数料の軽減

LCIF献金手続きの迅速化

クラブ・本部の事務処理効率化

日本の各クラブが、国際協会へ送金する方法が、この1月から変更となり、5連式振込用紙【写真1】を使った文書扱いから、電信振込に替わります。以下、その内容についてご説明します。

新しい送金方法導入の背景

金融業界でのIT化が進み、日本のライオンズにおいても、IT化や新技術の採用が積極的に推進されてきました。そんな中、5連式振込用紙を使用した文書扱いによる送金方法は、手数料が高く、入金処理に時間がかかる上、データが手入力されるために非効率なことが問題となっていました。にもかかわらず5連式振込用紙による送金を続けていた理由は、用紙に送金種別を記入しないと、それが国際会費なのか、LCIF献金なのか、あるいはクラブ用品代金なのかを区別出来ないことにありました。

この件に関して、国際本部財務部ほか関連部門で検討を重ね、新送金方法を導入する運びとなりました。

新送金方法では、各クラブに送金区分ごとに**3種類の「国際協会送金専用口座」**を割り当て、その口座へ電信送金することで、送金種類を把握出来、この問題点が解決されることになりました。

新しい送金方法の概要

●三つの「国際協会送金専用口座」

新しい送金方法では、送金先として、三つの「国際協会送金専用口座」が各クラブに通知されます。この口座番号は国際協会クラブ番号のように、各クラブ固有のものです。国際協会に送金する際には三つのうち、その時々の送金区分に応じた口座番号あてに送金して頂きます。これにより、**送金した口座番号だけで「その送金がどのクラブから、どの送金区分で送られたか」が**分かるようになります。

●送金はATMかインターネットで

国際協会送金専用口座は、データ処理上の「第5集中支店」を通して実施され、ATMかインターネットバンキングによる送金のみが可能となります。ただしATMの場合、現金振込では1回につき10万円（手数料込）という限度額があるため、**クラブ口座のキャッシュカードを、必ず事前にご用意ください**。現在、各金融機関が発行しているキャッシュカードには、磁気カードとIC認証カードがあり、送金限度額が高いIC認証カードをお勧め致します。限度額については各金融機関窓口でご相談ください。

なお、キャッシュカードの発行には約10日間、インターネットバンキングのパスワード取得には約2～3週間を要しますので、早めの手続きをお願い致します。

●5連式振込用紙は廃止に

このATMかインターネットバンキングによる新しい送金方法の実施に伴い、2010年1月から、5連式振込用紙は廃止となります。

専用口座について

●各クラブには、第5集中支店の番号「797」に続いて、7桁の固有の口座番号が3種類割り当てられ、送金の目的により以下の通り区分されます

①クラブ口座全般

入会金、国際会費、終身会員費、クラブ用品費、レオクラブ会費等で、以下の②③にあてはまらない種類の送金は、すべてこの区分に含めてください。

②LCIF

MJFを含めたすべてのLCIF献金が対象です。

従来、5連式振込用紙の控えをLCIF寄付用紙（LCIF‐42）に貼り付けて頂いておりましたが、2010年1月以降の献金からはこれが不要となり、献金用紙の書式も刷新されます。

③チャーター費、国際大会登録

2010年1月以降、この口座番号へチャーター費を送金した場合、チャーター費振込送金受取書貼付用紙の提出は不要となります。ただし、チャーター費送金時点では新クラブの専用口座番号は未定なので、スポンサー・クラブか地区の専用口座番号への送金となる予定です。

●地区、複合地区にも、それぞれ専用口座が割り当てられます

地区、複合地区に関してはLCIF用とその他の2口座が通知されます。これは、クラブからのように件数が多くないため、どの地区（または複合地区）からの送金であるかが分かれば、十分事務処理が可能なためです。

●新クラブの専用口座

新クラブの専用口座は、クラブのチャーターが承認されると新たに割り当てられます。また、解散クラブの専用口座は、当分の間欠番となります。

割り当てられた口座番号の通知について

1月からご使用頂く3種類の国際協会送金専用口座番号は、確実に情報がお手元に届くように、次の3通りの方法でお知らせ致します。

●国際本部からの文書による通知

国際協会送金専用口座番号を示した通知書を、国際本部から郵便で、11月中旬頃発送します。送付先は、各クラブ会計の住所となります。

●オンライン報告システム「サバンナ」による通知

「サバンナ」ログイン後、左側に出るメニューのいちばん下にある「国際協会送金専用口座」ボタンをクリックす

【写真2】

ATMによる振込の一例

1
いらっしゃいませ
振り込み先の金融機関を選択してください
銀　行　信用金庫　信用組合
商工中金　農林中金　労働金庫
新 農 連　新 漁 連　農業競合組合
取消　戻る

2
振り込み先の金融機関の頭文字を選択してください
銀行
ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
イ キ シ チ ニ ヒ ミ リ
ウ ク ス ツ ヌ フ ム ユ ル
エ ケ セ テ ネ ヘ
オ コ ソ ト ノ ホ
取消　戻る
みずほ銀行なので『ミ』を押します

3
振り込み先の金融機関を選択してください
銀行　ミ
みずほ銀行　三重銀行　みなと銀行
みずほコーポレート銀行　みちのく銀行　南日本銀行
三井住友銀行　宮崎銀行　宮崎太陽銀行
三菱東京 UFJ 銀行　三菱 UFJ 信託銀行
取消　戻る

4
振り込み先の金融機関の頭文字を選択してください
みずほ銀行
ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
イ キ シ チ ニ ヒ ミ リ
ウ ク ス ツ ヌ
エ ケ セ テ ネ
オ コ ソ ト ノ
取消　戻る
第五集中支店なので『タ』を押します

5
振り込み先の支店を選択してください
みずほ銀行　タ
第九集中支店　第十集中支店　第八集中支店
第五集中支店　第七集中支店　第四集中支店
第三集中支店　第二集中支店　第六集中支店
取消　戻る

6
振り込み先の預金種目を選択してください
みずほ銀行　第五集支店
普通預金　当座預金　貯蓄預金
取消　戻る
口座の種類を選択

7
振り込み先の口座番号を押し
お確かめのうえ確認を押してください
みずほ銀行　第五集支店　普通
口座番号
1234567
1 2 3 4 5 6 7 8 9
取消　戻る
各クラブに割り振られた用途別の国際協会専用送金口座番号を入力してください

8
振り込み内容が正しければ確認を
訂正があれば　の該当名を押してください
お振込は電信扱いとなります

金融機関	みずほ銀行
支店	第五集中支店
科目･口座番号	普通・1234567
受取人名	ライオンズクラブコクサイキョウカイ 様
依頼人名	○○○ライオンズクラブ 様
電話番号	000-000-0000
振込金額	10,000 円

取消　戻る　確認

〈注〉この最終画面では国際協会専用送金口座の用途（会費、用品代金、寄付など）は表示されません

ATMの画面内容は、各金融機関やコンビニエンスストアによって異なりますので、あくまでも一例として参考にしてください。

ると、3種類の口座番号が表示されます。【写真2】

●**地区キャビネット事務局経由の通知**

各地区キャビネット事務局に、地区内クラブの国際協会送金専用口座番号を通知する文書をお送りします。各地区キャビネット経由でクラブにお知らせ頂くほか、万一番号が分からなくなった場合や本部からの通知が届かない場合などに、ご確認頂けます。

※キャッシュカードを使ったATMからの送金例を、上図で順を追って説明していますので、参考にしてください。

LCIF献金を送金される場合の留意点

●**LCIFへの寄付申し込み用紙（LCIF・42）は廃止となります**

先にも述べましたように、5連式振込用紙の控えを貼付して送付頂いていたLCIFへの寄付申し込み用紙は2010年1月から廃止となり、【写真3】の新しいLCIF献金報告用紙（以下、新書式）に刷新されます。

新書式は、MJF献金とそれ以外の献金についても、この1枚ですべてご報告頂けるようになりました。

なお、新書式は送金後、直ちにファクスまたはEメールで送ってください。

新しい送金方法の導入に伴い、ＬＣＩＦでの入金確認にかかる時間も大幅に短縮されるため、入金時に新書式を受領していない献金については一時的にも「詳細不明分」として処理せざるを得ません。それを避けるためにも、振り込み後、迅速に新書式をファクス（Ｅメール）送信することが重要となります。

●ＡＴＭ利用明細など、レシートの添付は一切不要です

従来と異なり、ＡＴＭ利用明細など、レシート類の新書式への添付は一切不要ですが、後日照会の必要が発生した場合に備えて、レシート類は**必ず保管**してください。

●複数クラブからの献金を、地区が一括して振り込む場合

地区に割り当てられたＬＣＩＦ用の専用口座番号に送金してください。そして、各クラブの献金明細を別紙として作成の上、新書式に添付してください。

●特記事項欄について

ＣＳＦⅡ誓約分の他、ライオンズクエスト、自然災害などへの各種指定献金、芳名録、会社楯、その他要望など、該当する項目のない事項はすべて新書式最下部の「特記事項」欄に記入してください。

●クレジットカードによる献金

クレジットカード献金の場合には、新書式ではなく現行の書式「ＭＪＦクレジットカード寄付専用申請書」または「ＬＣＩＦクレジットカード寄付専用紙」を引き続きご利用ください。

新しい送金方法により、振込手数料が軽減されます

新しい送金方法は電信扱いのため、従来の文書扱いに比べて半額から３分の１の振込手数料で送金が可能です。

現在、全国のクラブから、年間で約１万８千件の送金があり、そのほとんどが他行あて送金です。そのため、今回の新しい送金方法導入によって、単純計算でも、４２０円×１万８千件の**約７５０万円**が、日本のライオンズクラブ全体での経費削減となります。

（国際協会日本事務所所長／渡辺誠）

LCIF 献金報告用紙（振込専用）

Lions Clubs International Foundation

Lions Clubs International Foundation
300 W. 22nd Street
Oak Brook, Illinois 60523-8842
U.S.A.

ファックス：米国 630-571-5735
電　話：米国 630-571-5466

ＭＪＦ献金を含むすべての献金にご利用いただけます。ローマ字・英数字で正確に記入してください。

振込日（銀行利用明細の取引年月日） Date of Deposit	月/　日/　年 Month / Day / Year
国際協会送金専用口座の LCIF 用番号 Account Number of Remittance	797 -　（下７桁）
振込金額 Deposit Amount	¥　（US$　）
地区 District	
クラブ名 Club Name（クラブ番号） Club Number	LIONS CLUB（　）
クラブ（または地区）の連絡先 Club or District Contact Information	電話 Phone： ファックス Fax： Eメール Email：

以下の該当する□に✔印をつけ、必要事項を選択・記入してください。

1．献金の内訳 Donation Details

A．□ ＭＪＦ（金額 US$　）

献金者名 Donor/Recipient　会員番号 Member ID　通算 MJF 献金回数（本献金を含む） MJF Level　回

＊献金者が複数の場合には、それぞれの献金者名、会員番号および献金額の一覧を添付。
献金者が非会員の場合には、会員番号の代わりに "Non-member" と記入。

B．□ その他の献金 Non-MJF Donation（金額 US$　）

□ 献金会員 Contributing Member（US$20、US$50、US$100 のいずれかに○）
＊献金者がクラブの会員ではない場合には、それぞれの献金者名、会員番号および献金額の一覧を添付。

□ クラブ献金 Club Donation
アワードの交付を希望する場合（US$1,000 以上）□ クラブ楯 Club Plaque
□ クラブ・バナーパッチ Club Banner Patch

□ 上記以外の献金 Other Donation〔地区献金など。日本語で記入可〕

2．特記事項 Special Instructions（CSFII 誓約分、ライオンズ・クエスト指定、災害指定、その他要望など。日本語で記入可。）

ライオンズクラブ国際財団 www.lcif.org

【写真3】

●送金方法別振込手数料

振込金額	5連式伝票による文書振り込み	新しい送金方法による電信振り込み（キャッシュカード使用）	新しい送金方法によるインターネットバンキング
3万円未満	￥630	￥210	
3万円以上	￥840	￥420	

■当記事に関するご質問

ライオンズクラブ国際協会日本事務所までお願いします。

TEL. 03-3494-2931
FAX. 03-3494-2933
Eメール：lcijapan@amber.plala.or.jp

ただし、LCIFに関するお問い合わせは、国際本部のLCIF大石までお願いします。

FAX. 1-630-706-9313
Eメール：Yutaka.Oishi@lionsclubs.org

国際理事だより

■国際理事
杉本忠夫
（北海道・札幌ライラック）

ニューオーリンズ国際理事会の報告

9月29日〜10月4日、アメリカ・ルイジアナ州ニューオーリンズで国際理事会が開催されました。ジャズ発祥の地とされている街はライブ等で深夜までにぎわい、心身共にリフレッシュ出来たのは私一人ではないと思います。一方、2005年のハリケーン・カトリーナでは甚大な被害を受け、いまだ25％の人々が他の街で暮らしていると聞きます。一日も早く我が家に帰れることをお祈り致します。

さて、今回協議された内容について特に多くの方に関係がありそうな内容を、私の意見も交えご報告致します。

これまで協会で使用していた「配偶者」という言葉を「成人の同伴者」またはその他の適切な表現と置き換えることが決定し、可能な限り速やかに、かつ最大広範囲で実施されることになりました。

皆さんのクラブからも国際大会に代議員を派遣されていると思いますが、その資格証明の手順が改訂されます。国際本部からクラブ幹事あての証明用紙の郵送を取りやめ、今後は国際協会の公式ウェブサイトに証明用紙が掲載されます。

ステータス・クオや解散からクラブを救済したり、会員15人未満のクラブを20人以上の活発で存続行可能な状態に再建したライオンを表彰する、「クラブ再建アワード」が設定されました。該当すると思われるクラブはこの新アワードをその後押しにして、再建に力を注いでください。

これまで規定がなかったクラブ支部の会員数が、発足時の条件として5人を集めることが必要となりました。支部は親クラブの一部でありながら、別個に例会を設けたりアクティビティを実施することが出来るグループです。例えば、新クラブを結成するための20人を集められない場合も支部として発足させ、活動をしながら徐々に基盤を整え、後に単一クラブとして独立させるという方法も考えられます。クラブ活性化の選択肢の一つとしてください。

また、国際本部からの報告についても、かいつまんでお知らせ致します。

会員増強における今年度のスタートは世界的に見て、例年をしのぐ新クラブが結成されるなど大変順調でした。女性会員も増加していて、現在世界で28万人弱、約21％を占めます。日本ライオンズの女性会員は1万人の大台に乗り、全体の9・4％になりました。引き続き、女性や若い会員に重点を置いた会員増強活動を続けて頂きたいと思います。

世界のライオンズのアクティビティでは、2008・09年度は総額6億1900万ドル、1クラブ当たり1万3576ドルを投じて活動が行われました。CSFⅡの獲得金額が2億ドルだったことを考えると、その功績の大きさがよく分かります。詳しくはライオンズクラブ国際協会公式ウェブサイトで「Lions Club Activity Report Results 2008-09」（英語）をご覧ください。

さて、いよいよ今年も最後の月になりました。ライオンの皆さんもお忙しく、また宴会も増えて許容量以上に飲んだり食べたりする機会が多くなっているかと存じます。体の声に耳を傾け、風邪やインフルエンザにもかからぬようお互いに気をつけましょう。良い新年をお迎えください。

LCIF理事長によるセミナー開催

アル・ブランデルLCIF理事長によるLCIFセミナーが、10月21日に長崎（335、336、337複合地区／ホテルニュー長崎）、23日に東京（330、331、332、333、334複合地区／グランドプリンスホテル赤坂）で開催された。

ブランデル理事長はまず、昨年度国際会長として世界各地で目にしたLCIF交付金事業について語り、視力ファーストで視力を取り戻した人たち、四川大地震被災地に再建された学校での子どもたちの笑顔など、LCIFの資金によってライオンズが果たした成果を報告。続いて日本語資料を使って主に交付金の種類とその使途などを説明するプレゼンテーションを行った。基金の現状については、世界的な不況で前年度の献金額が平年を大きく下回ったこと、金融危機の影響で基金にも損失が出たが、LCIFは堅実な投資を行っているため他の基金と比較して損失の規模は小さいことを説明した。また日本のライオンズに向けて「皆さんはこれまでLCIFに多大な貢献をしてくださいました。どうかこれからも変わらぬ貢献を続けてください。皆さんは私の『エブリデー・ヒーロー』です」と述べた。

南半球で2度目の国際大会はオーストラリア・シドニーで

第93回国際大会は2010年6月28日～7月2日、オーストラリア・シドニーで開催される。南半球での国際大会は、同じくオーストラリアのブリスベーンで開かれた91年大会以来2回目となる。オペラ・

ハウスやハーバー・ブリッジなどのランドマークが有名なシドニーは豊かな自然に囲まれ、世界中から旅人が訪れる魅力的な都市。オージーの明るくフレンドリーな国民性はよく知られるところで、世界中から集うライオンズにとって忘れがたい大会になることだろう。エバハルト・ヴィルフス国際会長が推進し、今大会で初めての開催となるライオンズ国際青少年音楽コンクールのコンサートも楽しみな催しの一つだ。

大会参加には必ず大会登録が必要となる。登録料は早期登録（09年12月31日以前）が100ドル、普通登録（10年1月1日～5月1日）が130ドル、後期登録（10年5月2日～現地）が150ドル。登録手続きは協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org／トップページ→「ニュースとイベント」→「国際大会」）でオンライン登録するか、登録用紙をダウンロードして郵送またはファクスで送付する。大会情報や各地区主催公式ツアーに関しては複合地区国際大会委員会へ照会を。

札幌で全国ライオンズ献血推進会議開催

10月9、10日、日本赤十字社主催の平成21年度全国ライオンズ献血推進会議が北海道札幌市で開かれた。献血で提供された血液は輸血用血液製剤、血漿分画製剤として治療を必要とする患者のために使われている。このうち血漿分画製剤について、平成17年度から19年度にかけて原料血漿の確保が目標量を下回ったことから、献血推進に大きな役割を担うライオンズの理解と協力を求めるために日赤血液事業本部が企画したもので、昨年に続き2回目の開催。日赤の招請に応じて、全国の各地区から102人が参加した。会議初日は新千歳空港ビル会議室でのオリエンテーションの後、千歳市にある日本赤十字社血漿分画センターを見学（写真）。2日目の会場は札幌市の札幌プリンスホテルで、献血の現状報告、小児がんで息子を失った光武綾さんによる講演、332・B地区の大和田助康地区幹事による事例発表、意見交換と質疑応答に続いて、啓発ビデオ「ゆきみ」が上映された。ビデオは和歌山県・御坊ライオンズクラブのライオン岡本宗の実体験を元にしたドラマで、小児がんとの闘いと献血の必要性を描いている。

原料血漿は一部を輸入に頼っているのが現状で、日赤では国の方針である国内自給に向け努力している。十分な原料血漿を確保するには献血、特に成分献血の推進が必要となる。

写真提供／ライオン清水直喜（福井県・敦賀みなとライオンズクラブ）

献眼50周年を記念する献眼推進フォーラム

10月30日、日本アイバンク協会が主催、全国54のアイバンクが共催する愛の献眼50周年献眼推進フォーラムが、東京・目黒区のこまばエミナースで開催された。2007年に、日本で最初の献眼による角膜移植手術が行われてから50年、翌08年は角膜移植に関する法律制定から50年を迎えたことから、同協会は07年から3年間にわたる献眼推進活動を展開している。アイバンク事業への理解を深めると共に献眼者の増加を目指す活動で、今回のフォーラムもその一環として開かれた。この努力が実を結び、約5千人いた角膜移植の待機患者数は現在3千人にまで減少した。とはいえ、移植を希望してから手術を受けるまでには2～3年待たねばならないのが現状で、更に潜在的な患者数は2～3万人いると推測される。これを解決するには、献眼登録を実際の献眼に結び

つけていくことが重要になる。そのために同協会では広報誌の発行やポスター製作、アイバンク・サポーター制度の導入など、さまざまな取り組みを行っている。

また、アイバンク設立当時から深くかかわってきたライオンズの更なる協力も求められている。

フォーラムでは、アイバンク活動の経過と現状についての報告と、作家の曽野綾子氏による講演「見えない人と共に」が行われた第1部に続き、第2部では、日本声楽家協会「Jソロイスツ」による記念コンサートが開催された。

国際本部・太平洋アジア課発――

オークブルック通信③

Eクラブハウス：世界へ情報発信を

ライオンズの活動を手軽に広くPRするにはウェブサイトは最強のツール。国際協会はクラブのPR活動を支援するため、ホームページのテンプレートと無料ホストサーバーを提供するEクラブハウス（http://lionwap.org/eclub/index.php）をスタートさせた。このテンプレートはライオンズのロゴとイメージ･カラーでデザイン。カレンダー、プロジェクト、フォトギャラリーなどのページがあり、フィールドを穴埋めする簡単な作業でホームページが作成出来る。日本語版テンプレートは年明けに完成予定だが、太平洋アジア課はこれを機に英語版ホームページを作ってはどうかと提案している。日本のクラブの多くは既に立派なホームページを持っているが、英語版のあるクラブは少ない。Eクラブハウスのホームページは登録すれば協会サイトと直接リンクされるので、英語版ページなら海外に向けて情報発信が出来る。

同課では「日本のクラブのすばらしい活動を世界に発信するため、まずは英語版でクラブの基本情報と写真をアップロードし、日本語版ホームページにリンクさせるだけでもよいのでは？」と勧めている。日本のクラブの利用を助けるためマニュアルを用意しているので、興味のあるクラブは同課あてにEメール（pacificasian@lionsclubs.org）で問い合わせを。

Eクラブハウスを使った兵庫県･神戸みなとライオンズクラブのホームページ

『ライオン』誌発送業務の一部を障害者福祉作業所に委託

『ライオン』誌の発送方法には会員個人宅あるいは勤務先に直送する「個人発送」と、クラブあてに会員数分を一括して送る「クラブ発送」がある。現在、前者を3分の2のクラブが利用し、後者を利用しているのは約1100クラブとなっている。これまで発送作業はいずれも専門業者に発注していたが、ライオン誌日本語版委員会ではこのほど、クラブ発送の梱包・発送作業を、社会貢献の意図から東京・世田谷区の福祉作業所に委託することにした。福祉作業所への委託は11月号から実施。10月22日、知的障害者施設「わくわく祖師谷」に同区内の8施設（身体、知的、精神、発達障害者施設）の利用者が集まって最初の作業が行われ、1日で1097クラブ、3万5610冊分の梱包が完了した。このように障害種別も異なる複数の施設が共同で作業を行うのは区内でも初めての試みということで、障害者雇用促進協議会も注目し、新しいネットワークが育つことも期待されている。

会議録

第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（9月18日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：石井征二、後藤忍、三浦利治、加藤弘明、太田道信、大村哲郎、山地章靖、北島建則各議長、杉本忠夫、不老安正両国際理事）

第1部：①アルバート・F・ブランデルLCIF理事長セミナー（案）②2009・10年度アワード受賞基準について③「国際青少年音楽コンクール」について④上位ライオンズ・リーダーシップ研究会（09年11月15日～19日タイ・パタヤ）⑤韓国ライオンズからの提案に関しての報告⑥330～337複合地区公認ツアーコーディネーター規定⑦インターネット倫理規定⑧各委員会・連絡会議報告⑨その他

第1回複合地区会則委員長連絡会議（9月28日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：宇田川雄弘、山田稔、米谷春夫、坂井正、松尾精介、橋本隆夫、濱田富雄、福島武各委員長、後藤忍議長）

①世話人、副世話人の互選②2008・09年度会則委員長連絡会議からの申し送り事項③09年会則・付則改正の確認④09年ミネアポリス国際理事会決議事項の確認⑤ライオンズ必携、ライオンズクラブ役員必携の製作⑥申し送り事項の検討：役員必携・第3編クラブ会計⑦申し送り事項の検討：複合地区会則

第3回ライオン誌日本語版委員会（10月7日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：秋山詔樹、瀧澤嘉門、坂本和彦、林静誠、砂田繁雄、大島康男、小田邦雄、塩倉安伸各委員、荘英隆、小柴登司両ITアドバイザー）

①10月号（10万8600部発行）出来②11月号記事内容の確認③12月号以降台割（案）と主要記事予定④若手会員フォーラム・フォローアップ⑤オンライン報告システムServannA⑥ライオン誌日本語版事務所の運営⑦その他

第4回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（10月13日／兵庫県神戸市・神戸メリケンパークオリエンタルホテル／出席者：石井征二、後藤忍、三浦利治、加藤弘明、太田道信、大村哲郎、山地章靖、北島建則各議長、杉本忠夫、不老安正両国際理事）

①秋季国際理事会報告②アルバート・F・ブランデルLCIF理事長セミナー③「国際青少年音楽コンクール」について④上位ライオンズ・リーダーシップ研究会（09年11月15日～19日タイ・パタヤ）⑤第48回OSEALフォーラム（09年11月19日～22日タイ・パタヤ）⑥複合地区ライオンズクエスト委員長連絡会議の開催（335複合地区提案）⑦各委員会・連絡会議報告⑧その他

新結成／解散／合併クラブ

■新結成クラブ

徳島やまもも（武久良史会長）▼10月1日結成▼スポンサー／徳島城山

■解散クラブ

神奈川県・横浜洋光台／千葉県・館山北（合併）／大阪府・忠岡／熊本県・肥後武蔵

■合併クラブ（合併前のクラブ）

千葉県・館山（館山／館山北）

訃報

■献眼者

9月＝ライオン河本國明（広島県・呉マリン）

LIONS ON LOCATION 世界で奉仕するライオンズ（『ライオン』誌本部版より）

ドイツ

イチョウならぬトウヒ育てる

クリスマス・ツリー、その売り上げは何とありがたきものか……、ドイツのクラブがそれを証明している。ホーエンツォレルン・シグマリンゲン ライオンズクラブはトウヒの木を育て、毎年約200本を12月最初の土曜日に市役所前で販売している。販売日の前になると、会員たちの動きは慌ただしくなる。

金曜日に木を切り出して市内に搬入し、土曜日には台を組み立て、積み下ろした木を並べていく。他に、農場から仕入れたモミの木も一緒に販売する。わずかな手数料で配達も請け負う。「階段を運び上げたり、時には住所を見つけるのに苦労することもありますが、大したことはありません」とライオンたち。去年はやや見栄えのしない1本を残して完売し、売り上げは3千ドルを超えた。収益は高齢者の小旅行などクラブの奉仕活動に使われる。ライオンたちはこのアクティビティを終えると、楽しいクリスマス・シーズンを迎える。

オーストラリア

パーティーの楽しみ方

ルガーノ ライオンズクラブはパーティー成功の秘訣をよく心得ている。クラブが主催するスプリング・フェスティバルは、これまでに29回を数え、シドニー郊外で開催される同様の催しの中でも最大規模を誇っている。会場となる地元の公園に集う人々は3万人にも上る。会場内には150店以上が出店し、450台のクラシック・カーが展示され、ダンスや歌などのエンターテイメントが披露される。

音楽がパーティーを盛り上げる
Photo by Bob Walker

このフェスティバルによって、クラブは活動資金として2万6千ドルを調達している。出店のほとんどは地元有志によるもので、その収益金がライオンズクラブの活動を通じてさまざまな方法で地域の役に立つことを、大いに歓迎している。

スリランカ

火災を防ぐ「光の騎士」

スリランカで貧困にあえぐ人々が直面する最も深刻な脅威の一つは、安価で安全性の低いランプに起因する火災だ。そうしたランプは転倒しやすく、広く普及しているだけに被害が後を絶たない。毎年、何百人もの命が奪われ、何千人もの人々が傷を負っている。特に幼い子どもたちは、ランプの転倒や点火時の事故で被害に遭う危険性が高い。しかも、やけどの治療にはお金が掛かり、地方の貧しい人たちの多くは手当てを受けられずにいる。

この深刻な問題を解決するため、306A1レオ地区は「安全第一」キャンプを実施した。レオ会員たちはその日1日で、250個の安全なランプと千個以上の眼鏡を配布した。またこの活動の一環として、地元の学校に備品の供給も行った。

安全なランプの購入と配布は、自らを「光の騎士」と呼ぶスリランカのレオたちが継続的に取り組むプロジェクトだ。彼らはこれまでに電気のない生活を送る400家族に、800個の新しいランプを贈っている。

「新しいランプは丈夫で、転倒しにくいように底辺が大きく出来ています。私たちが配ったランプによって、たくさんの命が救われているはずです」と、アシサ・ピナドゥア306A1レオ地区会長は話している。

ライオニズムが生んだ、もう一つのナルニア国物語 ～ライオンズ・ナルニア点字トレイル～

エリン・クラウチ

『ナルニア国物語』（C・S・ルイス作）と言えば、子どもたちが大好きな児童小説だ。テネシー州のとあるライオンズクラブは、目の不自由な子どもたちも楽しめるように、この夢の国を実際に作り上げた。

4月、「ライオンズ・ナルニア点字トレイルと触れ合いガーデン」が、テネシー州キングスポートにあるウォリア・パス州立公園内の大きな広場に完成した。トレイル（遊歩道）沿いには、ナルニア国物語の第1章「ライオンと魔女」に登場する10の情景が再現され、視覚障害のある子どもたちはビーバーの家の近くを流れる小川の音や偉大なるライオン王・アスランのうなり声を耳にすることが出来る。また、触れ合いガーデンでは、さまざまな種類のハーブの香りや味を楽しむことも出来る。点字の標識やサイズの大きな展示物のおかげで、目の不自由な人もこの夢の国の雰囲気を味わえるのだ。

この施設では、近隣都市に住む子どもたち約25万人を対象に、催し物や運動・学習プログラムを提供している。子どもたちは、小説に登場するさまざまなシーンを実際に体験出来る。

左：ライオンズ・ナルニア点字トレイルを楽しむ子どもたち

下：C·S·ルイスの作品を表現するライオンズ·メンバー

例えば、防臭剤の臭いのする洋服の間をすりぬけたり、作り物の毛皮に触れたり。大きな石板に座ることも、更には街灯の下にたたずむ「雪の牡鹿」を眺めたりすることも出来る。歩道はコンクリートで舗装され、車いすでの通行も可能。アスランのソリや休憩所のいすやテーブルも、誰にでも使いやすいよう工夫されている。

この施設の建設の一部には、LCIF交付金が使われている。

視力障害を持つ子どもと一緒に施設を訪れた家族の様子を、サリバンカウンティ高校の視力専門家リー・ブライアン氏はこう伝えている。

「娘のサラが、お友だちに遅れることなく、同じペースで遊んでいるのを見るのはこれが初めて。とても楽しそうにはしゃいでいました」

一方、サラさんは落成式の時に、こんな感想を寄せてくれた。

「このトレイルが大好き。特に『ライオンと魔女』のお話は大のお気に入り。小説に出てくるタムナスさんの洞穴やビーバーダムを、点字で読んだり、音を聞いたり、触ってみたりすることが出来てとても楽しいの。このトレイルを作ってくれてどうもありがとう」

トレイルの建設から標識の設置まで、さまざまな作業に参加したライオンズであるが、今後も施設を奇麗に保つため、年に数回の整備日を設ける予定である。

言うまでもないが、このトレイルは子どもたちに大人気であった。一連の活動を通して、ライオンダグ・ハセルタインは落成式ではたと気付くのであった。「想像力は何にも邪魔されない、限界はないのだ」と。

SightFirst Update

視力を保護し、機会を維持する

アレシア・ディマール

スリランカの電気技師A・D・プラサド・ランジャン・ペレラは、ライオンズの視力検査を受けた10歳の息子から、生涯最大の驚きを聞かされることになった。

「もし、今回の視力検査を受診していなかったら、息子は片目を失明していた可能性があったと、専門家が話していたというのです」

彼の息子であるハンダパンゴダーゼ・ドン・ルシル・ハリタ・ペレラは、LCIFとジョンソン・アンド・ジョンソン・ビジョン・ケアの取り組みである、「サイト・フォー・キッズ」を通して検査を受けた1千万人のうちの一人である。このプログラムは、子どもたちを対象に視力検査を実施し、近視や、著しい視力損失の原因となる屈折障害などの問題の発見、及び予防に努めている。多くのアジア諸国においては、15歳未満の子どもたちの15％以上がこれらの視力問題を抱えている。学習は視覚に基づいたものが多いため、視力を失うことは子どもたちの発達に深刻な影響を及ぼすことがある。

ジョンソンン・アンド・ジョンソンは「サイト・フォー・キッズ」に15万ドルの資金提供をしており、これは韓国、タイ、中国、インド、ベトナム、スリランカ、インドネシアやフィリピンで子どもたちを対象とした視力検査に活用された。27万5千人以上の子どもたちは、更に診察を受けるために医師に紹介され、7万5千人以上の子どもたちが眼鏡を受け取り、5万6千人以上の子どもたちはさまざまな眼病の治療を受けてきた。

ハンダパンゴダーゼは視力検査後、ライオンズ眼科病院での治療、更にコロンボにある小児病院での治療を受け、失明を免れることが出来た。

「ライオンズ眼科病院ではすべてのサービスを無償で受けることが出来ました。専門家の治療、処方薬、眼鏡の費用など、私たちにはとても負担することは出来ませんでした。子どもたちの視力の救世主であるライオンズクラブの皆さんの成功を祈っています」

と、ペレラは話している。

スリランカにおける「サイト・フォー・キッズ」で視力検査を受ける子どもと看護師

CLUB REPORT クラブ・リポート

●当欄はライオンズ、レオ、ライオネスの活動報告を扱います。投稿要領は56㌻参照

愛知県・愛西ライオンズクラブ

みんなで作ろう！　災害に強い愛西市

生活を脅かす地震や台風。もし被災したら、あなたはどうしますか？

10月16日から17日にかけて、愛西ライオンズクラブ（佐藤正会長／30人）は結成40周年記念事業として「一泊避難所体験と防災フェア」（主催／愛西ライオンズクラブ、共催／愛西市）を実施した。市民の防災に対する意識を高め、起こりうる災害に備えることを目的としたアクティビティだ。

一泊避難所生活と炊き出し体験に参加したのは愛西市民約60人。愛西市親水公園の屋内競技場で一夜を過ごした参加者からは「他人のいびきでなかなか寝付けなかった」「床が堅くて痛かった」といった声が聞かれ、避難所生活の困難さを実感する貴重な時間となった。

翌日の炊き出し体験は被災時を想定した方法で豚汁と白飯を調理し、来場した市民に振る舞うというもの。ふだん料理などしない子どもたちも、大人に混じって大活躍。そこに、これまで運営サポートに徹してきたライオンたちも加わり、終始楽しげな会話が飛び交うにぎやかな雰囲気となった。

有事を想定して行ったイベントにしては「緊張感が足りない」と思う読者もいるかもしれないが、これも一つの狙いなのだ。佐藤会長は「まずは子どもから大人まで興味を持って参加してもらうことが何より大切。そこから、近隣世帯、ひいては市民と行政が一体となり防災に取り組むきっかけになってくれれば」と語る。

他にも、日本における防災研究の第一人者である名古屋大学大学院環境学研究科の福和伸夫教授による講演や、消防署、防災ボランティアの会など各協力団体による展示も行われ、延べ約700人の愛西市民が来場。防災イベントとしてはかなり大規模となったが、聞けば準備に約1年かかったと言う。実現出来たのはライオンたちのひたむきな努力と綿密な計画があったからこそだろう。

災害に強い愛西市へ。今回の取り組みがその第一歩となることを期待したい。

（取材／安藤英則）

静岡県・浜松市内9クラブ

佐鳴湖の浄化を願って雨天のヨシ刈り作業

10月17日、334-C地区第1リジョン第1ゾーン9クラブ（浜松、浜松葵、浜松舘山寺、浜松西、浜松東、浜松南、浜松リバティ、浜松グリーン、浜松若葉）による合同事業「佐鳴湖・ヨシ刈り」奉仕が実施された。この日は朝から、時折強い雨が降るあいにくの天候だったが、約150人のメンバーが参加し、浜松市内の中学生ボランティアと一緒に佐鳴湖岸に繁茂するヨシを刈り取った。

佐鳴湖は1950年代後半まで、ワカサギ漁やシジミ採りが出来るほど、奇麗な湖だった。が、60年代に入ると急激に水質が悪化、夏にはアオコが発生し、異臭を放つようになった。それは年を追うごとにひどくなり、2001年にはとうとう、環境省の公共用水域水質測定で全国ワースト1位になってしまった。その後6年連続でワースト1に認定され、佐鳴湖は日本一汚濁した湖として知られるようになった。

もちろん浜松市でもさまざまな取組みを行っており、02年からは湖岸にヨシを植える活動を始めた。ヨシは水中の窒素やリンを根から吸収して成長するため、刈り取ることでそれらを除去することが出来る。更に春になると、刈り取り後から新たなヨシが成長し、また窒素やリンを吸収してくれる。

これに目をつけたのが、浜松ライオンズクラブ（江川博敏会長／130人）で、昨年度、市内のライオンズと全中学校に呼び掛け、ヨシ刈り奉仕をスタートさせた。今年は新型インフルエンザの影響で、中学生の参加は市内20校から約210人と、前年より100人近く少なかったが、全員がてきぱきと作業をこなし、湖岸に生えていたヨシを7割方刈り取った。しかも刈り取ったヨシは茶畑で敷わらとして再利用され、効率の良い循環システムを構築出来た。

昨年、佐鳴湖はようやく全国ワースト1の汚名を返上し、ワースト3まで挽回した。中学生たちと活動を行うことで、この流れが引き継がれ、いつの日か再び、ワカサギやシジミがすむ湖に戻るに違いない。（取材／鈴木秀晃）

千葉県・市川ライオンズクラブ

盲学校に触図筆ペン贈呈

10月5日、市川ライオンズクラブ（矢吹善二会長／39人）は、千葉県立千葉盲学校（田中省三校長）に、視覚障害者用触図筆ペン「みつろう君」を贈呈した。

みつろう君は融けた蜜蝋をインク代わりに使い画用紙などに絵や文字を書くことが出来る筆ペンで、㈲安久工機（田中隆社長）が開発した。線の太さは筆圧で調節、約70度の蜜蝋が数十秒で固まり、視覚障害者は線を指で確認しながら描くことが出来る。失敗してもヘラで蜜蝋を削れば、消しゴムのように修正可能。本体と15色の蜜蝋粘土セットで25万円である。

贈呈式は小5クラスの児童3人の前で行われ、早速、子どもたちが動物の絵を描いて披露した。子どもたちは「普通の画用紙に絵が描けてうれしい。もっといろいろな動物を描きたい」と歓声を上げた。田中校長は「子どもたちにどんどん絵を描いてもらい、水彩絵の具で薄く色を加えて、学校の文化祭で展示したい」と語った。

クラブとみつろう君との出会いは今年の2月、私が小さな新聞記事を見つけたこと。田中社長とは旧知の仲だったのですぐに連絡を取り、例会でデモンストレーションをお願いし、今回の贈呈へと発展した。

みつろう君は視覚障害を持つ子どもたち（もちろん大人も）に新しい文化的体験を提供出来る。これを贈るライオンズ・メンバーは、彼らが嬉々として絵を描く姿を目の当たりにするはずだ。矢吹会長は、

「全国のライオンズクラブにみつろう君を広め、2011年の当クラブ50周年には各地から作品をご提供頂いて『ライオンズみつろう君作品展』が出来たらうれしい」と夢を描いている。

（贈呈事業実行委員長／吉原稔貴）

愛知県・名古屋樟ライオンズクラブ

障害者をジャズ・フェスティバルに招待

イラスト／篠田和夫

名古屋樟ライオンズクラブ（50人）の今年度クラブ・スローガンは「皆で楽しく心の奉仕」。これを実現するために、日本学校ジャズ教育協会中部のご協力を頂き、9月19日、名古屋市東区のウィルフォールで、中高校生によるジャズ・コンサート「スチューデント・ジャズフェスティバル」を開催。これに身体障害者の方々を招待し、ジャズを聴きながら楽しいひとときを過ごして頂くことにした。

市内及び近郊の障害者施設や団体、NPOに広く案内を送り、参加を呼び掛けた。何人来てくれるだろう。車いすスペースに入りきれるだろうか。ジャズ演奏だけでなく、楽しい感動をいっぱい提供したい。何度も協議を重ね、車いす60台、障害者合計200人の来場を予測。選曲にはアニメのテーマ曲も入れ、出演校の入れ替わり時間にはアトラクションとして着ぐるみの動物たちをたくさん客席に登場させて楽しい雰囲気を作ろう、お土産も用意しよう、ということになった。

いよいよ当日。早朝からメンバー一丸となって準備を進めた。青木重臣334-A地区ガバナーにもご臨席頂いた。障害者の皆さんはほんとうに楽しそうに曲に合わせて手拍子をしたり、着ぐるみ登場では一瞬驚いたものの、握手をしたり、一緒に写真を撮るなど、笑顔が輝いていた。最後には『翼をください』を皆で歌い会場は一つになった。

翌日には、「今度いつやるの」というメールや、親御さんからの「あんなに楽しそうな顔は今まで見たことがなかった」という、うれしいお礼の言葉が届いた。障害のある方々に楽しい機会を一つでも多く持ってもらえればという私たちの思いが届いたものと確信する。私たちの達成感もひとしおであった。

（会長／加藤善久）

静岡駿府ライオンズクラブ

「静岡ハンディキャップテニス大会」の支援

真夏の暑さが残る9月13日。静岡駿府ライオンズクラブ（天野進吾会長／64人）の野外活動チーム「移動厨房」と料理人たちのはつらつとした姿が、県営草薙総合運動場の共生広場にあった。毎年9月の第2日曜日、当クラブが継続アクティビティとしてかかわっている静岡ハンディキャップテニス大会が開催されるのだ。

当クラブは第2回大会に協賛広告を出し、第3回大会から模擬店を出店。その後、優勝カップや手作りの昼食提供、医療班の派遣など、現在のスタイルで継続してきている。第16回目の今年は、大会メンバーだった堂森佳南子選手が北京パラリンピックに日本代表として出場したこともあって、一層の盛り上がりを見せた。

この事業では、軽トラックを改造して調理道具一式を積み込んだ移動厨房車が活躍する。焼きソバ、かき氷、鯛焼きなどをこしらえるメンバーたちも腕を上げ、プロの料理人のメンバーの指導もあって年ごとに充実してきている。

試合で技術を競い合うのが大会の大きな目的ではあるが、それだけではない。選手やその家族、友人、大会補助員として参加している高校生やボランティア・スタッフたちがテニス競技を通じて交流を深め、新たな友情を育んでいると聞きうれしく思う。

障害を持つ方とご家族、そしてクラブ・メンバーの底抜けに明るい笑顔に、ライオンズ活動の良さを実感出来る一日である。人生を明るく前向きに生き るアスリートたちを、今後も応援していきたい。

（PR会報委員長／手塚昌幸）

新潟県・三条中央ライオンズクラブ

老人ホームでハンド・マッサージ

三条中央ライオンズクラブ（兼古耕一会長／79人）は8月28日、特別養護老人ホーム「うらだての里」を訪問。ライオン小林八重子のご主人経営の㈱諏訪田製作所で作られた爪切り1丁を寄贈、またこの爪切りを使っているネイル・アーティストにも同行頂き、ホーム利用者にハンド・マッサージを提供した。

これは社会福祉委員会の取り組みの一環で、昨年は同施設に老人用玩具を寄付、また読み聞かせのボランティアなども行っている。

当日はクラブ・メンバー9人とネイルサロン・スクール「リュクス」から5人が訪問。小柳潤一第2副会長が名古屋裕デイ・サービスセンター長に、「世界でも有名な爪切りです。お風呂の後に使ってもらってください」と品物を手渡した。施設利用者にも鍛冶職人など地場産業に携わっていた人は多い。地元三条市で作られた製品が、美容という新しい分野でも支持されていることに誇りを持ってもらいたいと思い、お話しした。

それから40人の利用者一人ひとりにハンドマッサージを施術。ネイル・アーティストが利用者の手に果物の香りのマッサージ用クリームを塗り、指や手の平を使ってマッサージした。お年寄りたちは「いいにおい。しっとり、すべすべになった」「ありがとね。ありがとね」と何度も礼を言い喜んでくれた。（社会福祉委員長／土田美千代）

330-B地区第4リジョン第1ゾーン（神奈川県）

盲導犬育成支援ＰＲバス

10月1日、川崎市交通局塩浜営業所にて、阿部孝夫川崎市長、㈶日本盲導犬協会の吉川明氏、金子圭賢第1副地区ガバナーらの参加の下、盲導犬育成支援ＰＲラッピングバス出発式が開催された。車体に「盲導犬の育成を応援してください」というメッセージと9頭の盲導犬がプリントされた市営バスだ。来年の9月末まで運行される。

主催者あいさつでは中谷克宏ゾーン・チェアパーソンが「ラッピングバスを走らせることによって市民に盲導犬育成への参加意識を感じてほしい」と述べた。阿部市長は、盲導犬育成や献血、美化活動などに励むライオンズへの感謝と共に、盲導犬の数が足りない現状を鑑み、この企画が育成事業発展へのきっかけとなるよう祈念していると述べられた。

盲導犬育成は市内クラブが10年来継続している活動。バスの効果でより多くの募金が集まるようになるといい。「ウィ・サーブ」の発声で来賓によるテープカットが行われ、ラッピングバスは盲導犬育成への希望を乗せて川崎の街へ走り出した。（地区ＰＲ情報委員会メルマガ編集局長／石橋隆志）

335-C地区第2リジョン第2ゾーン（京都府）

合同チャリティー講演

10月13日、第2リジョン第2ゾーン所属の4クラブ合同で、チャリティー講演「対談 あるべきリーダーシップとは」をウェスティン都ホテル京都で開催。一般の方を含む280人の参加者を得た。

リーダーの育成はヴィルフス国際会長も重要項目として挙げており、ライオンズの結束のために、また変革の時代において求められる条件でもある。

あらゆる社会で通ずる「あるべきリーダーシップ」を検証するために、「新しい国家経営を推進していく指導者育成」を目的とする松下政経塾前塾長・関淳氏と、「市民のための医療」を実践されている京都府立医科大学学長・山岸久一氏との対談を企画した。

お二人が共通して挙げたリーダーの姿は、「現場によく足を運び、人の話をよく聞き、7割褒めて3割叱る」。興味深いお話に、参加者の評価も上々だった。登録料の一部から、京都新聞福祉事業団を通じて特別介護老人ホームへ介助用電動車いすを寄贈した。

今後、同様の講演会が更に多く開催され、より人の心を重んじる社会になればと念ずる次第である。（ゾーン・チェアパーソン／藤井次子）

北海道・札幌アカシア ライオンズクラブ

馬に親しむ会

札幌アカシアライオンズクラブ（鈴木正宣会長／56人）の「馬に親しむ会」は14回目を迎え、10月6日、北海道札幌盲学校の生徒たち約40人を招き、夕張郡長沼町のハイジ牧場で開催された。

始まりは昭和62年。日本中央競馬会札幌競馬場にて保育園児や養護学校の生徒たち300人を招待し、馬に触れ、生きている動物から命を学んでもらうことが目的だったと聞く。

今回は老人ホームのお年寄り、在宅や福祉施設の障害者及びご家族などにも参加して頂いた。馬に乗るだけではなく、収穫やジャム作り、さまざまな動物と触れ合う企画など、心から楽しんで頂けるよう毎年創意工夫している。

北海道札幌盲学校の生徒さんは5回目の招待になる。青空の下、先生や親御さんと一緒に笑顔で乗馬を体験された。中には初めて馬に乗る子もいて、何度もトライし最後は一人で乗れるようになった。14回の中には、こうした小さなドラマがたくさん詰まっている。今後もクラブの看板アクティビティとして生き続けるはずだ。継続に貢献された多くの先輩に感謝している。（ＰＲ・ＩＴ情報記録委員長／加藤博仁）

鹿児島ライオンズクラブ
タイの病院へ腎臓透析器寄贈

今期、鹿児島ライオンズクラブ（57人）は県内59クラブに先駆け、結成50周年を迎える。この機に、クラブ最後のチャーター・メンバー故谷川榮一元国際理事の遺志を継承・発展させようと、主要記念事業に国際交流・国際奉仕を選定。LCIF交付金を受け、タイ・ナーン県のボアクラウンプリンス、ナーン両病院に計7台の腎臓透析器を追加寄贈することにした。

同事業の端緒は5年前。地元チャンクラナンライオンズクラブが透析器を寄贈する際、L谷川と親交の深かったタイのソムサクディ・ロヴィス元国際理事の懇請で、鹿児島市内と種子島、屋久島の計13クラブが助成した。今回は趣旨に賛同頂いた姉妹クラブの岐阜県・羽島、韓国・鳳鳴両ライオンズクラブとの合同アクティビティとなった。

贈呈式には3クラブから13人が訪問団を組織し参加した。ナーン県はタイ北部、ラオスとの国境沿いに位置する山間の静かな地域。9月27日に訪ねたボアクラウンプリンス病院では、院長や地元ライオンたちの出迎えを受け、透析室に案内された。部屋には今回贈呈した3台を合わせ計7台の機器があり、患者さんたちは透析を受けながら我々に微笑んでくれた。

その日は市民挙げての大歓迎夕食会が開催された。会場は両側に商店が並ぶ公道。正午から夜12時まで通行止めにして10人架け丸テーブル150卓を設営、脇道には大鍋が並んだ。

午後6時半、1500人の市民が待機する中、地元高校のブラスバンドに先導され訪問団が入場。スタンディング・オベーションが起こり、感動に身震いしそうだった。ステージ最前列のVIP席に着座するや、高校生が優雅な民族舞踊を披露。タイ料理が次々に運ばれ、歓談が続く。知事や地元ライオンズの役員諸氏からは丁寧な歓迎のごあいさつを数多く頂いた。

翌28日はナーン病院で贈呈式。院長、透析専門部長に案内頂いた病室には、今回の4台と前回の1台に加え、地元から贈られた4台の透析機が並び、腎臓透析センターと書かれた看板も掲げられていた。徐々に整備は進められているようだ。が、ナーン県北部の人口は22万人。機器はまだ不足、待機患者が列をなしている。訪問団は、ライオニズムを共有する自国の同志にこの現状を伝え、具現化へ向ける思いをそれぞれの胸に刻んでタイ国を後にした。

（会長／安田勝英）

富山県・上市ライオンズクラブ

風船に夢と希望を乗せて

今日、日本の子どもたちを取り巻く環境は、いじめや自殺、薬物乱用など混迷を深めている。そこで上市ライオンズクラブ（小柴順子会長／31人）は、子どもたちが遠くに住む人との交流を期待し、夢と希望を持つようになれればと、風船に子どもの手紙と花の種を付けて飛ばす事業を企画。毎年多くの子どもが参加する、クラブ主催の「第25回健康マラソン大会」に併せて実施することにした。

前もって町内の保育所年長組の園児172人と小学校6年生206人に書いてもらった手紙を袋状にしてキバナコスモスの花の種を入れ、風船に結んだ。環境を考慮して紙は和紙、風船は天然ゴムと、土に戻る素材にした。

9月27日、会場の上市町丸山総合公園には当日受け付け分を含め500個の風船を準備、ヘリウムガスを入れて参加者に手渡した。

マラソンの開会式前に小柴会長が事業について説明。「遠くまで飛んでけー！」という掛け声を合図に、皆が一斉に手を離した。風船が舞い上がった瞬間に拍手が沸き、感慨無量であった。

翌朝早速、長野県飯山市で農業を営むご夫妻からお返事のファクスが寄せられた。同じくらいの年のお孫さんがいらっしゃるので、孫からの手紙のようでうれしかったという心温まる文面だった。

今のところ返信はまだ1通だが、クラブ事業のすばらしさを味わうことが出来た。今後の反響を期待している。

（PR委員長／井上誠治）

東京日野、東京日野かしの木ライオンズクラブ

みんなといっしょの運動会

10月4日、中央大学の体育館を会場に借り、東京日野ライオンズクラブ（安藤友徳会長／23人）、東京日野かしの木ライオンズクラブ（村上健一会長／22人）、㈳日野市社会福祉協議会の三者共催による「みんなといっしょの運動会」を開催した。今年で14回目を迎えたこの運動会には、日野市内の10の障害者施設から315人の生徒たちと、地域のボランティア団体や近隣大学のボランティア部学生164人が参加。岡野忠生330‐A地区ガバナー、渡邉晃地区国際委員長もご来訪くださった。

当日は好天に恵まれた。競技には「ゴロゴロメガ団子」（大玉送り）、「仲間はどこだ？」（絵合わせ）、「空飛ぶパン屋さん」（パン食い競争）といったワクワクするようなタイトルを付け、車いすの方も共に楽しめるように配慮している。岡野ガバナーはパン食い競走に参加、一緒に汗を流された。午後一番に行われた綱引きは、スタッフも含め全員参加で大盛り上がり。終盤の玉入れや鈴割りには勝負の行方がかかっており、競技を脇で支えるメンバーにまで本気モードが伝染、真剣勝負に手に汗を握った。最後に全員で踊るマイムマイムは、障害のある人もない人も、学生もライオンも入り乱れ、時にぶつかり、心が一つになる最高に楽しいひとときだ。この皆の屈託のない笑顔が、事業を継続する大きな力になっているといつも思う。

学生たちは着ぐるみを着て応援したり、アナウンス部女子は美しい声で臨場感あふれる実況中継をし、応援団やチアリーディング部がパワフルな演技を披露するなど、若い力を発揮して大いに盛り上げてくれた。ひの手話サークルの皆さんは、終始、手話でアナウンスを伝えてくれた。私たちライオンズもスタート係、ゴール係、得点、審判等、汗だくになって走り回った。こうして私たちをつなぎ、エネルギーを注いでくれるのは障害を持つ彼らなのだと感じる。この運動会は他者への奉仕であると同時に、我々にとっても大変重要な事業なのだ。

（実行委員会）

岡山県・倉敷東ライオンズクラブ

サイエンスキャンプIN美星

倉敷東ライオンズクラブ（27人）は10月3～4日、第1回「サイエンスキャンプIN美星」を開催した。参加者は小学校高学年児童90人を中心に、クラブ・メンバーや子ども会役員を加え、総勢120余人での1泊2日体験型キャンプである。

2009年が、7月22日の皆既日食に代表される「世界天文年」に定められたことに着目。クラブ結成以来、活動のキーワードにしている青少年育成プログラムの一環として、県中西部に位置する井原市美星町を舞台に、青少年に天文や宇宙に対して関心を持ってもらう目的で準備をスタートした。

美星町ではその名の通り美しい星が見られ、天文台や、宇宙のチリも観測出来るスペースガードセンターなどがある。準備段階から、県の補助事業として㈶日本宇宙フォーラムの方々に献身的なご協力を頂き、子どもたちに体験学習を行う最高の機会となった。

特に、おもしろ宇宙実験や受信機を利用したお宝さがしゲームは関心を呼び、終了時のアンケートでも感動や興味を得たという回答が多かった。

宿泊に使用したのは旧美星高校を再利用したレトロな木造校舎で、日頃鉄筋校舎で勉強している子どもたちにとってはとても新鮮で思い出深いものとなったようだ。同時に、ゴミを一切出さないECO学習も体験した。

今回のサイエンスキャンプがきっかけで子どもたちが宇宙や天文に興味を持ったり、将来の進路選択の一助になればこの上ない喜びである。ライオンズ本来の「汗をかく良質な奉仕」が出来たことを誇りに思う。メンバーの奮闘に敬意を表す。（会長／小銭和明）

岐阜県・多治見ライオンズクラブ

アイヘルス・ケア・プロジェクト

9月13日と10月4日の両日、多治見ライオンズクラブ（水野一郎会長／98人）は当クラブ及び多治見陶都ライオンズクラブ会員、そして多治見市を対象とした市民眼科検診を実施した。昨年度、334-B地区が年次大会記念事業で多治見市に寄贈した高性能眼科医療機器を使用したもの。眼底、眼圧検査により、糖尿病網膜症、動脈硬化、脳血管疾患、腎臓病、緑内障、老人性黄斑部変性症、眼疾患等の早期発見が出来る。いわば目を通して体全体の健康がチェック出来る優れものだ。

当クラブ会員で日本緑内障学会評議員でもある岩瀬愛子医師の熱心な活動もあり、市民の眼科医療への関心は非常に高い。今回も受診者100人の募集に対して263人もの応募があり、やむなく抽選となった。

検診に当たってはライオン岩瀬を始め、共催する多治見市保健センターや、市内の開業医、視能訓練士、医療器械メーカーの専門技師など多数の人たちの協力があった。

「診察したライオンズ・メンバーの半数は生活習慣の見直しが、3分の1は再検査の必要があり非常に驚いた。市民の方は比較的良好」とは、ライオン岩瀬のコメント。地域社会に対してだけでなく、自分自身への奉仕が必要ということか。

当日、診察を終えニコニコして帰る年配のご婦人に声を掛けた時のこと。

「良かったですね。異常なしのようで」

「違うんです。すぐ再検査が必要って言われました。明日行きます」

手軽なワンコイン、500円の受診料で自分の健康状態が分かった喜びの笑顔だと知った。現場に居合わせた者だけが体験出来るちょっとした感動である。これがあるから「ウィ・サーブ」はやめられない。

この機器を市民の健康により役立てられるように、今後も協力していきたい。（幹事／原弘久）

岡山マスカット ライオンズクラブ
障害者卓球大会開催

9月27日、岡山マスカット ライオンズクラブ（高津利明会長／27人）主催の「第29回岡山障害者卓球大会」が、岡山市障害者体育センターで開催された。結成年から継続して行われているアクティビティの一つである。毎年、岡山県を始め香川、鳥取、島根、兵庫、遠くは九州や愛知から、60～70人の選手が出場する。が、残念ながら今年は各地の都合で近県の参加のみ。総勢37人と少し寂しい大会となった。

卓球競技はわずかな風や光も大敵。体育館は窓を閉めて暗幕で遮光し、空調も無い状態で行われる。9月末とはいえまだ残暑が厳しく、加えて選手たちの熱気で蒸し風呂のような会場で熱戦が繰り広げられた。

競技は、立位の男子、立位の女子、車いすと3部門に分かれ、それぞれ上位3人に賞状と記念のトロフィーが授与される。

ラケットを手に縛りつける選手、普段は松葉杖を使用しているが、競技時には関節をギブスで固定し杖なしでプレイする選手、車いすのままプレイする選手など、ハンディをものともせずラケットを振る選手の健闘には、目を見張るものがある。

さて、我々メンバーの仕事といえば、当日の卓球台の設営及び撤去、受付、弁当や冷たい飲み物の提供等々。何より大切で大変なのがボール拾いのサポートだ。選手が試合に集中しスムーズな進行が出来るよう心掛け、体育館の中、網を片手に右へ左へ、汗だくでボールを拾って選手に渡す。試合が進むにつれて日頃の運動不足を痛感しているメンバーも少なくない。

ライオンズ・メンバーとして労力奉仕を行うことで、お金には換えられないものを頂いている。選手たちのひたむきなプレー、すばらしい笑顔に再び出会えるよう、来年以降もがんばっていこう。（市民・教育・保健奉仕委員長／宮本忠明）

東京21世紀ライオンズクラブ
骨髄バンク推進イベント

10月3日のライオンズ・デー。秋の週末を楽しむ人でにぎわうお台場ヴィーナスフォートの教会広場で、東京21世紀ライオンズクラブ（古川竜也会長／28人）は骨髄バンクの重要性とドナー登録に対する理解を発信する推進イベントを開催した。

イベントは「kors k」という音楽家の若く激しいサウンドで幕を開けた。彼のメッセージが若いファンの心を動かし、ステージ終了後、自らが先導して多くの若者をドナー登録へと導いた。

更にサッカー解説者の宮澤ミシェル氏と俳優の大橋一三氏の対談、アコースティックサウンドと美しいハーモニーの4人組「The Young Folks」、大谷貴子全国骨髄バンク推進連絡協議会会長と、昨年骨髄移植を受け新たなる未来を得たプロスノーボーダーの荒井善正氏による対談と続き、サンバ・ダンスチームによる底抜けに明るいステージでは客席も一緒になって大ダンス大会！ 最後は「森広隆」の透き通るような歌声に癒やされ幕を閉じた。

骨髄提供はリスクを伴い、身体的・経済的負担がある上、骨髄の提供先も知らされない、まさに無償の愛の行為。昨年、そんな愛の実践者は1万人を超えた。しかしまだドナーの数は十分ではないと聞く。

今回、㈶骨髄移植推進財団を始めボーイスカウトや全国骨髄バンク推進連絡協議会のボランティア、ヴィーナスフォートの方々など、100人を超える心優しい人々の協力で、楽しく有意義なイベントが実現した。

そして3時間ほどで28人のドナー登録という果実を実らせたのである。（実行委員長／杉村基）

広島県・宮島口、廿日市ライオンズクラブ
市の電気自動車購入を支援

ユネスコの世界文化遺産に登録された厳島神社を始め、世界に誇るべき文化や景勝地を有する廿日市市。環境保全にも力を入れており、このたび、有害排出物がなく環境に優しい電気自動車を公用車として1台導入した。

宮島口ライオンズクラブ（43人）と廿日市ライオンズクラブ（竹内利雄会長／32人）も、その導入費用の一部を寄付することで、市の取り組みを支持した。車体に「世界遺産『宮島』をエコアイランドに！」と表示されたこの車、10月17日に市民へのお披露目式が行われ、19日から宮島支所の日常業務で使われている。

購入したのは三菱の「アイ・ミーブ」。家庭用の電源で充電出来、1度の充電で最大約160キロ走行可能。割安な夜間電力を使えば、1キロ走行に掛かる電気代は約1円。走行中に地球温暖化の一因となる二酸化炭素を排出しない。

この電気自動車の導入が、環境に対する市民や来訪者の意識向上につながることを望む。我々ライオンズも共に文化遺産と環境を守り、伝え、また世界に発信出来る都市となるよう尽力していきたい。

（会長／洞井英雄）

三重県・津西ライオンズクラブ
「ハゼ釣り大会」開催

津西ライオンズクラブ（梅崎保昭会長／47人）は9月13日、「ハゼ釣り大会」を開催した。参加チームを公募したところ、過去最多の53チーム186人が集まった。お天気も良く、ハゼもいつもより大きく、釣れた量も大漁でビックリ！　ハゼは年々色良くなってきているという。釣りたてのハゼのから揚げは大好評で、クラブ特製の豚汁と共に食して頂いた。

また、環境保全の一環として、美化意識を高めてもらうために恒例の川周辺のゴミ拾い。相変わらずのゴミの多さにまたビックリ！

表彰式では大釣賞、大物賞、外道賞のそれぞれ1～3位、ファミリー賞と特別賞（ゴミを多く拾ったチーム）各5チームに賞状・賞品を授与した。3部門で表彰されたチームもあった。

今年は参加者に、マイ箸・マイお椀を持参してくださるよう声掛けをした。半数くらいには意識を持って頂けたが、まだまだアピールしていく余地はありそうだ。出席したメンバー37人は、準備から後片付けまで終日大忙し。疲れも出たようだが、また来年もがんばろう。

（幹事／北御門章次）

福井県・武生ライオンズクラブ
高みを目指し続けるライオン天井

我が武生ライオンズクラブ（59人）には、1962年のチャーターメンバーとしては、唯一現役の正会員、かつメークアップなしで1129回の例会皆出席を続けているメンバーがいる。その名はライオン天井久治。大正10年生まれ、御歳88歳で現役の歯医者さん。陸上の短距離選手として名を馳せ、県大会50歳以上年齢別100メートルで12・9秒の記録を持つ。

そんなライオン天井の偉業の裏には並々ならぬ努力があった。03年に脳梗塞で倒れ入院した際は、病院を抜け出して例会に出席。また、例会のために父親の葬儀の日程調整までされたという「伝説」もある。ゾーン及びリジョン・チェアパーソンを歴任されたクラブの生き字引で、会則見直しの際には若いメンバーにもひけを取らず大活躍された。

ライオン天井の健康長寿の秘訣は「目標を持ち続けること」と、何と「禁酒・禁煙は体に毒」（大の愛煙・愛飲家なのだ）。若手会員へは「何事も初心忘るべからず」とのたまう。クラブの誇り希望の星の、続く記録更新をメンバー全員で応援している。がんばれ！　ファイト、ライオン天井!!（会長／三室政憲）

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門

改訂版

第3版第1刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識

第3版第1刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う

第1版第3刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。

●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。地区名・クラブ名・お名前・ご住所・ご電話番号をお忘れなく。

※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。

https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2

※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門 …………　部

●クラブ運営の基礎知識 …………　部

●リーダーシップを養う …………　部

●ウィ・サーブ ……………………　部

●ライオニズムよ永遠に …………　部

●『ライオン』誌創刊号復刻版 ……　部

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

●投稿要領→56ページ

国際大会ならではの楽しき交流

福島 武（長崎）

7月6日、シカゴ・オヘア空港ターミナル1到着後、アメリカ入国。UAカウンターでチェックインをすると、当初の出発予定時間18時が、20時に変更になったという。もともと3時間以上余裕があったが、更にプラス2時間である。仕方なくぶらぶらしていると、周りにはライオンズのピンをしている人をたくさん見掛ける。

時間があるので、暇人同士しゃべってみようとチャレンジ。前に座っていたライオンズ・ピンを付けている人に、「国際大会に参加するのか」と質問したら、「そう、大会出席後、ビジネスでサンフランシスコへ行き、見本市に参加する」とのこと。

お互いに待ち時間が長く、退屈しているので、しばらく二人で話をする。彼はドイツの会員で、南部のスイス寄りの町のクラブで、住まいはスイスにあるが、ドイツのライオンズに入会している。クラブからは今回自分一人の参加で、仕事はソーラーの機械を扱い、会社の営業マネージャーをしているという。

彼に今回、ドイツから何人大会参加しているか質問したら、バッグからドイツの大会冊子を取り出し、参加者名簿から大体の数字で回答してくれた。さすがドイツ人。全参加者に立派な冊子（B5判の半分のサイズで30ページぐらい）を配布してある。感心したと同時に、新国際会長もドイツ人、ドイツの意気込みをも感じさせられた。

彼から、ドイツの美しいミネアポリス国際大会交換ピンを頂いた。私も日本のピンをあげようと捜したが、すべてトランクの中に入れたようで見つからない。そこで、大会会場のコンベンションセンターで会った時にあげると約束。彼の提案で、その時、バナーも交換しようということになった。彼の名刺に携帯電話の番号があり、私から連絡することになった。

彼の名前はアレクサンダー・D・グロスマン。クラブはデュイスブルグ・ラインハウセン ライオンズクラブ。

8日午前9時、国際大会開会式会場に到着したら、前の方の席は各国の会員がそれぞれパンフレット等を置いてキープしてあった。ドイツは、自国から国際会長が出るため前の方の席がキープされていたので、ライオングロスマンを探したが見つからない。私も国際専用の携帯電話を持参していたので電話すればよいのだが、昨日から彼の名刺が見つからない。仕方なく、彼を探すのは一時中断して良い席を探し、すばらしい開会式を見学することにした。

前日のパレード終了後、大会登録してから見学がてら彼を探したが、会えなかった。開会式では会えるだろうと期待したが、探せなかった。

ただ、ひょっとしたら今日はライオングロスマンと遭遇するかもとの思いもあった。開会式の後、大会登録、アクティビティ・ブース（アイバンク、LCIF等）、ライオン

イラスト／小川和政

ズ・グッズ販売ブース、フードコートなどがある展示場へ見学と昼食に行くことにした。そうしたら、何とあの広大な会場で会えたのである。

　昼食を終え、出口に向かって歩いていると、オーストラリア（来年の国際大会予定地）の宝石店の前で、オパールを熱心に見ている彼がいるではないか。私はハワイのホスピタリティ・ルームへ行く約束をしていたので、一緒に行かないかと誘ったが、彼も予定があるようで、明日9日正午、この場所で落ち会うことにした。

　9日、さすがドイツ人と日本人。約束の時間に双方遅れることなく着き、無事バナー交換をした。私から日本のピンと私のガバナー・ピンを差し上げ、彼のサンフランシスコでの仕事の成功を祈りつつ、来年オーストラリア・シドニー国際大会での再会を約して、別れたのである。

　私の英語力はごく普通の日本人のレベルである。それでも少しの交流は出来た。自分が交流したいと思うのと同様に相手もそうなのである。相手の英語のレベルに応じてゆっくりしゃべってくれる。

　いろんな国々のライオンが一堂に集まる国際大会。日本人だけで行動し、他国のライオンとほとんど交流しない旅行会社のツアーより、はるかに面白い経験が出来る個人参加を次期国際大会でチャレンジされてはいかがだろうか。

道義に立ってあえてお尋ねを

小西　宗仁（千葉県・船橋）

『ライオン』誌日本語版2009年2月号に掲載された「国際的組織の一員として」と題する後藤隆一国際理事（当時）の論旨に瞠目した。

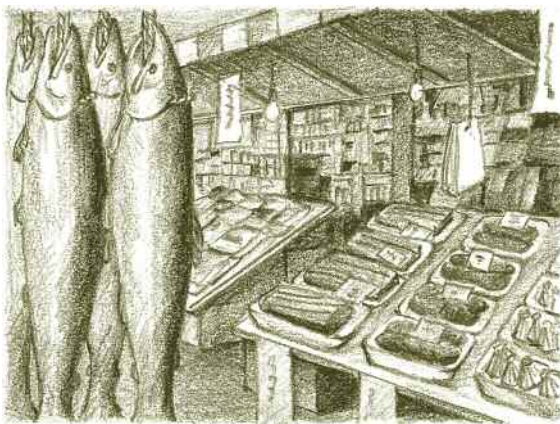
　ご指摘の通り、日本人の国際的理解不足は日本のライオンズ・メンバーの国際舞台における経験不足の実相でも明白である。何回も国際大会に参加されている方ですら、自国のパーティーや宴会には熱心に参加しても、諸外国のメンバーと交流出来るセミナーなどには全く顔を出さずに、「私は国際通」と称している輩のなんと多いことか。

　他の分野でも日本人だけが固まって交流し、行動しているケースは枚挙にいとまがない。これも言葉の壁が主な原因とも言われるが、日本の長い歴史と伝統文化の中で改善や改革への挑戦意欲がないと指摘する外国の評価はかなり厳しい。

　2007・08年度、アマラスリヤ国際会長が提唱された「変化への挑戦」についても、各地区の受け取り方は千差万別であったようだ。日本人特有の変化のとらえ方が非常にあいまいで、文字通り素直に順応する姿勢もあれば、今はその時期にあらずとかたくなに己のライオンズ観を貫き通すケースも多々あったと思う。

　しかし、それ以前に日本のライオンズ・メンバーに、まず国際協会の一員であるという共通認識の欠落が目立つ。

　確かに単一クラブは尊重されなければならないが、その前に国際協会の一単位である。更に言えば、地区やリジョン、またゾーンへの帰属意識さえも欠落しており、大変認識が甘い。

　地元地域の奉仕に汗することは大変有意義であるが、その活動もライオンズクラブ国際協会という世界的組織の傘下での奉仕活動であることを常に念頭におくべきだと思う。ライオンズクラブのモットー「ウィ・サーブ」は世界共通の理念であり、相互理解と相互依存の関係で構築されている。併せて個人の倫理観の奨励であり、時とし

て個人の修養の場でもある。これを東洋の仏教哲学の面から考究すると、永遠、普遍の自己は存在しない。すなわち人は自立して存在するのではなく、他者に依存して存在するという考え方である。

ちなみに古代インドの仏教学者、世親によれば私たちは皆無始（限りなく遠い過去）の過去から業を積み重ねながら輪廻（人間の六道：地獄　餓鬼　畜生　修羅　人間　天上）の世界の生まれ変わり、死に変わりて永久に苦難の旅をしているのだから、互いに共通の業を分かち合っている。これは「自己を他者から区別することは意味をなさない」という考えで「自分が自分自身を扱うように、自分はあなたを扱うべき」という道徳的結論が導き出される意識が稀釈である。

今、国際社会の異国民と「含有」し「消化」するには、日本人が予測する以上に一般国民が前進していないと認識すべきである。

現在57年を経過した日本ライオンズの系譜の中で、今回の国際第2副会長候補者の立候補断念の知らせに「今こそ日本独自のライオンズクラブを構築すべきだ」と声高に論ずる風潮があることを軽視してはならない。

日本から推薦された立候補予定者を2カ年間にわたって考査された結果が、「その任にあたわず」という解釈で、日本のライオンズ・メンバーに理解させようとする国際協会のトップにあえて謹んで上申したいことは、精神的貴族とも言われるライオンズの心でもある、「ノーブレス・オブリージュ」として露堂々（ろどうどう）と説明責任を果たしては頂けないものなのかということである。

平たく言えば、今回なぜ任ぜられなかったのかということではなく、どういうリーダーが求められているのか。我が国は先の敗戦で武力なく権力乏しき中にも文化を培い、道義に立って今日の日本の平和と繁栄を導いてきた。全世界のライオンズ・メンバーが希求する人材を、日本から近く必ず出現するためにも、ぜひ説明をこいねがいたく……思う。（仁恕）

いろんな出会いの中、三度（みたび）会計

生駒　健之輔（熊本県・人吉）

5月末の日曜日、子ども会の廃品回収に仕事上出てくる紙の断裁クズと共に、1994年9月号（1部欠損）からのB5判時代の『ライオン』誌も提供した。

1冊1冊パラパラめくってみると、ヘレン・ケラー、退会防止などの特集、脈々と続いている「獅子吼」等、温故知新さながらの記事にしばし目を奪われながらヒモをかけた。我が人吉ライオンズクラブからも「クラブ・リポート」、「招待席」、「特集」、「ふるさと探訪」、「獅子吼」への投稿や取材記事等、懐かしいものを目にすることが出来た。「これは残しておこう」と思うものもあったが、1冊残すとキリがなくなるので意を決して全部提供してしまった。

今、並べていた棚のスッキリした空間と共に、心の中までもスッポリ抜けてしまった感覚に、一抹の寂しさを隠しきれないものがある。

長い年月をかけていろんな面の変化がなされてきた。それはライオンズクラブだけに限ったことではないが、心温まること、冷たいこと、見ザル・言わザル・聞かザルを決め込みたいことも、数年の間には多数

あった。かつて幹事として三役の役職をお受けした時、一生懸命やっても言われて当たり前、無駄な努力はないとは思いながら、報われない努力もいっぱいあることを実感した。

殻に閉じこもってしまえば何も見えず、聞こえず、気楽にいけるのだろうが、人間は良くも悪くも人の中に交わってしか生きていけない。良かれと思ってしたことが、相手によっては逆になってしまうこともあり得る。見なくていいものを目にし、聞かなくていいことも聞こえてくる。良いこと、人の喜ぶことは大いに周りに吹聴し、隠す隠さないということではなく胸に納めるべきは納め、口にしない。己の判断で処すべきものもある。紛争に至らぬよう考慮することを優柔不断とは言わない。

告げ口ではなかろうが、当事者に言わなくていいようなことまで聞いたことを話してしまう。その前に考えられないことだろうか、と疑問に思う。包み隠さず筒抜けにしてしまうことが、果たしていいことなのかどうなのか。

TVの大河ドラマ「天地人」で直江兼続が若き真田幸村に「信じるか信じられないか、という岐路にある時、それなら私は信じる方にかけてみよう。その方が楽しく生きられると思わぬか」と諭す場面があった。人の良いところを見つけ、その一点を最大限尊重し相手に接する。全く同義であると思う。耳にしたことを、もし自分ならと考えれば、明け透けに伝えてしまうことが本当の友情と言えるのか、先を見る目を持てば必ずしもそれがベターとは言えない。

随分昔、ある殺人事件の捜査に携わった心理学者が「人間はある一点をかたくなに思い込み、また『自分はこう（無罪）だった』と言い続ければ潜在的にそうなってしまう」と言っていた。核心は本人がいちばん良く知っているはずだから、心苦しい後めたい人生にならぬか危惧する。自分は正しいと逃げ出し、被害者の境地に身を委ねてしまえば、もはや真逆の存在となってしまうのであろう。

さて、かなり話がそれたが、処分した冊子は二度と手元には戻らない。しかし、保存し続けることがライオンズ・ライフに最良の視点を促してくれるかと言えば、それは分からない。ただ、たくさんの友を得、いろんな先輩、後輩に巡り会い、その時共に居られたことを熱く心に感じることが出来ればいいと思う。

そんな訳でということではないが、十分承知しているはずなのに、何を血迷ったか性懲りもなく、三度(みたび)会計を引き受けさせて頂いた。10年程前、初めて参加した三役スクールの会計部門で教わったことに「何でもすぐ三役と言われる割に会計はここでもオブザーバー扱いしかされず立場は非常に弱いが、逆に何の責任もないポスト。いちばん損な役回りであり、いちばん楽な役回りでもある」と聞いた。

数年前に比べると大きく様変わりしてしまったクラブの行方ではあるが、この1年隠れミノに逃げ込むことなく歩かせて頂きたいと思う。

ライオン・バッジについて

横山　静（神奈川県・川崎武蔵）

ライオンズクラブのメンバーが付ける「バッジ」について、という論文を『ライオン』誌に投稿し、はや20年が過ぎようとしています。その間、私の考えに賛同する便りや反対する意見など残念ながら皆無でした。ということは、いかに「バッジ」に

対して無関心であるか、あるいはシンボルマークである「バッジ」本来の意味をご理解されていないのではと、疑いたくなります。

地区主催の委員会に出席した時、皆さんの付けているライオン・バッジがいろいろあり、いったいこの集まりは何の団体だろうかと、迷ってしまいます。

皆さんは記念に頂いたバッジをオリジナル・ピンの代わりに付け、例会や委員会に出席しているようです。これを見た時、果たしてこのままでいいのだろうかと、自問自答した時、再度この問題を取り上げるべきであると考え、筆を執ることにしました。

家系、社会、学校、あるいはいろいろな団体がありますが、それぞれ固有の、また象徴としてのシンボルマークを持っています。当然ながらそれは一つであり、商標登録されているものも、意匠登録されているものもあるでしょう。ライオンズクラブにも当然、商標登録された固有のライオンズマークがあります。

このロゴをピンにしたものこそが、唯一無二のライオンズクラブを象徴するバッジであります。

我々はこのライオンズマークに求心力を求め、言動に責任を持ち、統一した理念とポリシーの下、日々社会奉仕に精進しているのです。形が異なるさまざまなバッジを付けていては、ライオンズクラブを愛する精神は失われ、帰属意識も希薄になって、次第に混乱に向かい、まとまりのない状態になることを心配しているのです。

オリジナル・ピンの代わりに、一見して判別出来ないような記念バッジを、どうして付けているのか理解に苦しみます。多分、他のメンバーと差別のために、あるいは過去の苦労の思い出に、はたまた自己満足に付けている人もおられることでしょう。

しかし、ライオンズクラブの例会や行事に参加したその時から、そこに集うメンバーは、皆平等でなければなりません。その証として統一された固有のライオン・バッジを付けるのであって、決してバッジをもって差別化を図ってはならないのです。しかし、現状を見た時、この記念バッジを付けている人は、心の中に優越的な差別心を抱いているのではないでしょうか。

それが自然と、あるいは無意識のうちに言動となって現れ、そのことが相手を傷つけ、退会に至る人もいるということを認識して頂きたいのです。もし、なんらかの理由で付けなければならない人がいるならば、ライオン・バッジの隣に並べて付ければよいのです。しかし、その役割を終えたならば、速やかにはずさねばなりません。

長年ライオンズクラブに所属していますと、いろいろな記念バッジを頂き、たくさん溜まっています。昔はこの記念バッジをライオン帽に付けたりベストに付けて歩き、時には誇らしげに見せ合い自慢している人も散見しました。現在ではそんな人など見掛けることはありません。多分、行き場のない多くの記念バッジがダンボールの中で眠っていることでしょう。こんな意味のない、また無駄と思える記念バッジをやめ、統一した固有の「ライオン・バッジ」の下に集い、友愛と寛容の精神をもってライオンズクラブ本来のウィ・サーブに精進しようではありませんか。

Close up U50

楽しくなくちゃ、ライオンズじゃない♪

【入会のきっかけ】フリーアナウンサーとして、横浜で仕事をしていた頃にお世話になった方たちが、ライオンズのメンバーでした。独身の私を心配して、「ライオンズには、いい男がたくさんいるぞ」と声を掛けてくださいました。今流行りの「婚活」ですか？　あ、でも、奉仕活動を通じて社会のお役に立ちたい、という気持ちも少しはありました（笑）。

【入会してみて】最初の1年半は慣習に馴染めずに、違和感ばかり覚えていました。ド派手な式典に参加する度、「ここは私の居場所ではない」と思え、いつも逃げ出したかったです。でも、今年の3月に若手会員フォーラムに参加し、熱い志を持った日本中の若手会員と交流させて頂いたことで、大きく開眼！「居場所は自分で作ればいいんだ！」と気付きました。

【会長になってみて思うこと】入会2年目の私が会長に指名されるなんて、まさに寝耳に水。辞退させて頂く言い訳をずっと考えていましたが、「なぜ私を選んだのか?」と考えた時、「古い慣習やしがらみを断ち切り、クラブを変革させなければならない時期だからこそ、私なのか」と思えたのです。それで、引き受けるからには、「過去を真似るより、私らしくやろう。それが、進化につながるように！」と決めました。私のモットーは「仕事も遊びも、楽しんでやる」。楽しいことはモチベーションも上がり、結果として成果が上がる！　ライオンズ活動もそうあるべきだと思うのです。なんか楽しいから例会に行きたくなる。なんか楽しいからアクティビティに参加したくなる。そういうクラブになれば、自然と成果も上がるはず！　ちなみに会長方針も、シンプルに『Enjoy! LIONS Life!』。私の意訳では「楽しくなくちゃ、ライオンズじゃない♪」です（笑）。

【今後の抱負】当クラブは再来年、10周年を迎えるのと同時に、全国みなと同名40周年のホストクラブを務めます。現状では、このビッグイベントを成功させることは大変厳しい状態。そこでクラブの課題を共有し、全員が同じベクトルに向かって前向きに進めるよう音頭を取っていくのが、今期の私の使命の一つです。そのために、皆で楽しく盛り上がれ、更に収益の上がるアクティビティを、今期は数多く企画していきたいと思っています。チャリティー路上ライブ、バーベキュー大会など……やっぱり「みんなで楽しく」をモットーに、ね♪

【スポンサー・ライオン新田東一から】持ち前の明るさと愛嬌で、クラブの「看板娘」的存在。お仕事は司会、歌、執筆など、多彩な方面で活躍。そのマルチな才能は、ライオンズの活動でも発揮されています。今期は会長の重責を担っていますが、若く美しきリーダーに期待しています。がんばれ、香織ライオン！。

■内海香織

うつみかおり　1971（昭和46）年千葉県船橋市生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、化粧品会社勤務。退社後、アナウンサー、歌手としてタレント活動開始。2007年5月横浜みなと馬車道ライオンズクラブ入会。08-09年度会計、09-10年度会長。ビューティークリエイターとして、美容に心理学を応用した独自の美容理論「心理美学」を09年5月に発表。公式Blog：http://ameblo.jp/shinribigaku/

写真･構成／鈴木秀晃

※Close up U50（Under50）は50歳未満の若手会員に焦点を当てた企画です

10月4日、330-B地区の統一奉仕デーに合わせ、横浜みなと馬車道ライオンズクラブは横浜みなとマリン ライオンズクラブの協力を得て、馬車道商店街でチャリティー路上ライブを実施。内海会長自ら、ライオン保阪大輔とのユニットで昭和歌謡ライブを披露した

ippin おすすめの

第4回　愛媛県今治

◉

鉄板焼き鳥

焼き鳥というと、一般的には串に刺して炭火などで焼くものを想像する。が、今治では鉄板で焼くのだ。ステーキからお好み焼き、焼きそばなど、鉄板を使って調理するものは多い。そう考えれば、鳥を鉄板で焼いて何が悪いというわけだ。

今治で鉄板焼き鳥が始まったのは昭和30年代の半ばらしい。今治は瀬戸内海に面し、古くからの港町として栄えた。漁師も多く、彼らはかなりせっかちなため、焼鳥屋で注文をしても、もたもたしていたら、焼き上がるのを待たずに帰ってしまう。

炭火でじっくり焼いていては彼らの求めに応じられない、と考えた焼き鳥屋の主人、遂に鉄板焼きで対抗することにしたのだ。鉄板焼き鳥では皮が最もポピュラーなのだが、串に刺した炭焼きの皮が柔らかい食感を楽しむのに対し、鉄板焼きでは表面はカリッ、中はジューシーという全く違うものになる。

で、これが客に大受け。以来、今治では鉄板焼き鳥を出す店が増え、今では老若男女を問わず、完全に今治のソウル・フードとなっている。

「飲み物はビールだろうが、焼酎だろうが、何でもいいんですけど、注文するのは、まず皮ですね。今治の焼き鳥は、皮ありきです」

とナビゲーター。

「ただ鉄板の上で焼くんじゃなく、時々、重しで上から押さえるんです。そうすると、熱で蒸されて中まで火が通るし、鳥の脂が出て肉が揚げたようにカリッとなるんですわ」

このカリッにこだわって、肉の脂が切れやすいよう、わざわざ鉄板を斜めに作っている店もあるという。

「皮の次は『せんざんき』ですね。鶏肉に下味をつけて唐揚げにしたもので、この辺り独特らしいんですが、これまた定番メニューです」

なんせ、今治に進出したケンタッキーフライドチキンが、たった1年で撤退したのは、せんざんきに慣れ親しんだ今治市民に受け入れられなかったからとも言われている。やはり、食は文化である。というわけで、今治に行ったら、皮とせんざんきは押さえておきたい。

●今月のナビゲーター
長野隆一
愛媛県・今治東ライオンズクラブ。1951年、今治市生まれ。87年入会。09-10年度クラブ会長。大同工業㈱代表取締役、一級建築士。

ふるさと探訪

北海道新ひだか町

仔馬はここで競走馬となる。サラブレッドのふるさと日高

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

「競走馬のふるさと」と呼ばれる理由

千歳空港方面からえりも岬に向かって車を走らせると、国道沿いに牧場が並ぶ景色が目立ち始める。緑の絨毯の上には、のんびりと過ごす馬の親子。首をもたげて草を食む一家があれば、駆けっこをしてじゃれ合う家族もいる。人間の世界に例えると、さしずめ休日の公園といったところだろうか。

遠目には牧歌的に映る風景であるが、馬との距離を狭めると印象は違ってくる。たくましい筋肉質の胴体からスラリと伸びる長く美しい脚は躍動感にあふれており、間近で馬の息づかいを感じてみると、ここが競走馬のふるさとであることを改めて実感する。

日本の競走馬の8割がここ日高地方で生まれ育つ。北海道でも比較的積雪の少ない環境が、馬の生育に適しているという。『静内町史』（現、新ひだか町）にも、「明治の初期には野生の馬が群れをなして山野を横行し、農作物に大きな被害を与えていた」という記述があり、一帯は昔から馬には住み良い場所であったに違いない。

計画的な馬の生産地としてこの地に注目したのは、明治時代に北海道開拓長官を務めた黒田清隆である。明治5年に黒田長官によって区画された大規模な牧場は、後に宮内庁管轄の御料牧場として宮内御料馬や軍馬の拠出を担

放牧されている親子馬は、ほとんどが母馬と、競りに出される前の仔馬だという

うことになる。その後次第に軍馬の需要がなくなると、御料牧場は競争馬の育成牧場に転用されていった。

昭和29年に中央競馬会が設立され、次いで日本軽種馬協会が発足すると、サラブレッド種の育成牧場としての土壌が既にあった日高地方が、生産地として注目されるようになった。ちなみに軽種馬とは、乗用もしくは乗用の馬車を引くために改良された品種で、サラブレッド種やアングロアラブ種がこれに当たる。

昭和60年代に競馬ブームが興り、競馬産業が大きく拡大すると、それに呼応するかのように、町も活気づいていった。この時既に新ひだか町における競争馬の生産は、町いちばんの基幹産業になっていた。

レースに備え、英気を養う

競走馬の牧場は、大きく2種類に分けられる。一つは繁殖用の牝馬を保有して仔馬を生産・販売する生産牧場。周囲の景色に溶け込んでのんびり草を食む親子馬がいる牧場は生産牧場と見て間違いない。もう一つが、馬の調教を目的とする育成牧場である。

新ひだか町は生産牧場が中心だが、生産を兼ねた牧場を合わせると育成牧場も全体の1割程度、10軒ほどある。そんな育成牧場の一つ㈲カタオカステ

ーブルを訪ねた。
「こちらは馬主さんから馬をお預かりして休養させる施設です。滞在中、馬に応じたプログラムで調教を行って次のレースまでのコンディションを整えます」
と話すのは片岡拓章さん。
常時40頭ほどの馬を預かり、調教を施している。預かる馬にはデビュー前の仔馬も混じる。生産牧場で育った仔馬を人に慣れさせ、鞍を付けて人が騎乗出来るように調教し、競走馬に必要な基礎体力を養うのも片岡さんたちの仕事である。

馬によって調教メニューが異なるが、
調教が行われるのは午前中だけ

育成牧場の馬たちはおおよそ次のような1日を送る。

起床・朝食は午前5時。ここで馬たちが食べるのは、日高山脈特有の石灰質の土壌で育った牧草に、麦などの栄養価の高い穀物を配合した飼葉。馬によって配合の割合が異なる。人間と同じで食事も身体作りの重要な要素。調教プログラムによって、運動とのバランスが考慮されている。食事の後に検温し、体温が高いとその日の調教はお休みとなる。

6時には放牧され、7時頃から5～6頭ずつに分かれて調教が始まる。少し厚みのある砂が敷かれた400メートルコースを1～2本駆ける。速さやペース、距離は、メニューやその時の状況に応じて変えるという。調教が終わると、シャワーで汗を流し馬房へ戻る。

午前10時に2回目の飼葉が与えられてこの日のスケジュールは終了。後は静養となる。「調教」というからもっと身体を酷使させるのかと思っていたが、メニューは全般的に緩やかな印象であった。次のレースに備えて英気を養うのが目的なのである。

調教後、ぬるま湯のシャワーを
浴びてから馬房で休む

セリ市場のある風景

北海道唯一となる競走馬のセリ市場があるのも、ここが競走馬のふるさとと言われる理由の一つだ。市場の正式名称は日本軽種馬協会北海道市場。年間延べ3千頭が取り引きされる。セリには購買登録者しか参加出来ないが、見学は自由とあって、競馬ファン垂涎の観光名所となっている。

セリは年に4度ある。5月のトレーニングセールには訓練を済ませたデビュー間近の2歳馬、7月のセレクションセールにはその年生まれたばかりの当歳（0歳）馬と選定委員に認められた1歳馬、8月のサマーセールと10月のオータムセールには競走馬としての訓練を受ける前の1歳馬がそれぞれ取り引きされる。値が付く馬は良くて半分程度で、7割近くは売れ残る。当歳で売れ残った馬は、翌年の1歳馬のセールに登録することが出来、1歳で売れ残った馬は、生産者が調教を施して翌年のセレクションセールに登録出来る。それでも売れない場合は生産者の責任で売りさばく他、市場には出さずに生産者自らが馬主となってレースに出すケースもある。

やはり値の高低は、血統次第なのだろうか。日高軽種馬農業協同組合の白銀利徳さんに聞いてみた。

「血筋が良くても骨格や筋肉の付き方が良いとは限りません。多くの購買登録者は、実際に馬体を見てから購入を決めるようです」

本当に良い馬は、素人が見ても分かるそうだ。オーラが立ち、馬体が輝いて見えるという。ところが、見た目がすべてかというとそうでもない。セールの後にその才能を開花させる馬も少なくないのだ。馬主が買った馬のうち本命ではなく、おまけでもらった馬の方が重賞を取ったとか、そんな話は枚挙にいと間がない。

「賞金を稼ぐことも目的なのですが、どうしても馬主は馬に夢やロマンを重ねてしまうもの」と目を細める白銀さんは1頭の馬の話を始めた。馬の名前は「ユメロマン」。平成14年に地元の静内農業高校で生まれ、生徒らの手によって育てられた馬である。翌年のサマーセールで地元の馬主に売却された後、3歳で出走した新馬戦で快勝。その後は、馬主の息子であるジョッキーが騎乗するなど、人馬一体となって地元の人々の夢を乗せて走り続けた。そして2008年、26戦3勝という成績を残し、惜しまれながら現役を退いた。競馬の町でしか成し得ることが出来ない、まさにユメロマンである。

干し草のロール。干し草は冬場の大切なエサとなる

桜の名所で知られる二十間道路。秋にはコスモスで彩られる

郷土自慢・クラブ自慢

静内ライオンズクラブの郷土自慢は、本編でも触れた「セリ市場」。1回のセリは3~5日間にわたって開催されるのが普通である。朝、牧場から持ち込まれた馬は、5~6回に分けて屋外に並べられる。一度に展示される馬は50~60頭で、全国から集まった購買登録者らの厳しい視線を受けるのはまさにこの時である。午後になると1頭ずつ屋内のステージに上がってセリの時を迎えるが、与えられる時間は1頭につきたったの30秒ほど。買い手が付こうが付くまいが、次から次へとステージの袖に馬が消えていく。買い手が付かなかった馬はまた別のチャンスを待つ。馬の世界もなかなか厳しいものがある。

▼静内ライオンズクラブ（中道一三会長／66人）＝1961年6月1日結成／スポンサー：苫小牧ライオンズクラブ

読者プレゼント

日高昆布を5人に

「ふるさと探訪」(51ページ)で紹介した北海道新ひだか町の特産品、日高昆布(棒昆布一等品/300グラム)を5人の読者にプレゼントします。

日高地方の太平洋沿岸で採れる日高昆布は、肉質が柔らかく、煮上がりが早いのが特徴。おでん、昆布巻、鍋物、佃煮など昆布そのものを味わう料理に幅広く用いられます。だしを取ってもおいしい万能昆布です。

応募要領：はがきに「日高昆布」と明記し、住所、氏名、電話番号、クラブ名をご記入の上、ライオン誌プレゼント係あてにご応募ください。ライオン誌ウェブマガジン(www. thelion-mag.jp/modules/inquirysp /index.php?op=0)からも応募出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月末日。応募多数の場合は抽選。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

●訂正とお詫び

10月号「読者プレゼント」欄でプレゼント品の山形県鶴岡市・冨士酒造「古酒屋のひとりよがり」の情報に誤りがありました。正しくは16度/720ミリリットルです。関係各位にご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

2010年1月号予告

THEME ライオンズクエスト

25周年を迎えたライオンズクエスト・プログラム。日本でも2000年のパイロット事業スタートからちょうど10年。現在、全国各地でプログラムの普及が急速に進む中、学校導入を果たした単一クラブの事例を紹介すると共に、プログラム説明員を務める会員に現状と課題を聞く。

ライオン誌投稿要領

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。

▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。

■**クラブ・リポート**32〜41ページ：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。関連写真があれば添付。

■**獅子吼**43〜47ページ：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。

送付先：
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階
ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630
E-mail：edit@thelion.jp

築地通信

●『ライオン』誌11月号分から、クラブ発送の梱包・発送業務を福祉作業所に委託するようになった(28ページ「ライオンズ・ニュース・カセット」参照)。初回作業が行われたのは10月22日。当方ではこれまで専門業者に発注していたので、梱包作業のノウハウがなく、試行錯誤といった状態の中、障害のある方たちはそれぞれに工夫して自分の出来る作業に当たってくれた。今後、包みやすい梱包材やシンプルなラインとチェック方法など、改善していきたい。クラブに『ライオン』誌が届いたら、一生懸命荷造りしている彼らの姿を想像してみてほしい。(やなせ)

ライオン誌事務所来訪者芳名録

日付	クラブ	氏名
10.1	千葉県市川	吉原 稔貴
10.2	埼玉県鴻巣	塩谷 睦夫
10.14	富山県高岡フラワー	生地 清明
10.15	青森県つがる	小山内金弥
10.16	愛知県名古屋樟	加藤 善久
10.21	東京日本橋	岡野 忠生
10.21	東京日本橋	屋代 誠一
10.21	東京渋谷	横河 明紀
10.21	東京桜門	藤井 清一
10.21	東京赤坂	阿久津隆文
10.21	東京葛飾東	近藤 健司
10.21	東京セントポール	岩田 守弘

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

EXECUTIVE OFFICERS
President Eberhard J. Wirfs, Am Munsterer Wald 11, 65779 Kelkhem, Germany; Immediate Past President Albert F. Brandel, 14 Herrels Circle, Melville, New York 11747-4247 USA; First Vice President Sidney Lee Scruggs, III, 698 Azalea Drive, Vass, North Carolina 28394 USA; Second Vice President Dr. Wing-Kun Tam, Room 4010 China Resources Bldg. No. 26 Harbour Road.

DORECTPRS
Second year directors
Bishnu Bajoria, Bankura, India; Ken Bird, Brisbane, Australia; Kwang Soo Jang, Seoul, Republic of Korea; Douglas A. Lozier, Indiana, USA; Shyam Malpani, Mumbai, India; Art A. Marson, Wisconsin, USA; Dr. Jerimiah Myers, Alaska, USA; Ellis Suriyati Omar, Kuching, Malaysia; Eugenio Roman Jr., Arecibo, Puerto Rico; Bojan Sober, Rijeka, Croatia; Drs.Ton Soeters, Huizen, The Netherlands; Neil R. Spencer, Florida , USA; Beverly L. Stebbins, Texas, USA; Tadao Sugimoto, Hokkaido, Japan; Prof. Dr. Hayri Ulgen, Istanbul, Turkey; Rosane Jahnke Vailatti, Penha, Brazil; Debra Wasserman, Minnesota, USA;

First year directors
Enrico Cesarotti, Rome, Italy; Luis Dominguez, Mijas Pueblo, Spain; Gary B. DÅfOrazio, Idaho, USA; Yasumasa Furo, Hukuoka, Japan; K.P.A. Haroon, Cochin, India; Carlos A. Ibanez, Panama City, Republic of Panama; Ronald S. Johnson, Maine, USA; Byeong-Deok Kim, Seoul, Korea; Horst P. Kirchgatterer, Wels/Thalheim, Austria; Hamed Olugbenga Babajide Lawal, Ikorodu, Nigeria; Daniel A. OÅfReilly, Illinois, USA; Richard Sawyer, Arizona, USA; Anne K. Smarsh, Kansas, USA; Jerry Smith, Ohio, USA; Michael S. So, Makati, The Philippines; Haynes H. Townsend, Georgia, USA; Joseph Young, Ontario, Canada;

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　杉本忠夫
国際理事　不老安正
委員長　大島康男（335複合地区）
編集長　瀧澤嘉門（331複合地区）
委　員　秋山詔樹（330複合地区）
委　員　坂本和彦（332複合地区）
委　員　林　静誠（333複合地区）
委　員　砂田繁雄（334複合地区）
委　員　小田邦雄（336複合地区）
委　員　塩倉安伸（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

ライオンズの原点に学ぼう

ライオン誌
日本語版委員
◉
林　静誠
（千葉県・船橋中央）

日本のライオンズクラブは１９５２（昭和27）年に東京ライオンズクラブが結成され、20年後には会員数10万人に達しました。しかし92（平成４）年の17万人をピークに減り始め、本年７月では10万９千人と35％も減少しました。

皆さんは「スズラン給食」の話をご存じでしょうか。私が新クラブ結成説明会に誘われた時に上映された16ミリ映画（69年の第52回東京国際大会誘致のＰＲ映画）にも挿入されていた実話です。

内容は本誌05年２月号「スズラン給食から40年の現地を訪ねて」、またライオン誌日本語版創刊50周年記念誌に紹介されておりますので詳細は省きます。子どもたちが摘んだスズランがライオンたちに届けられて実現した「スズラン給食」は、子どもたちに真の励ましと希望を持たせ、自立向上のたくましい意欲を育みました。子どもたちとライオンズが温かい心と手で結ばれてゆく愛の奉仕活動です。私はこの映画を見て、日本にこんなすばらしい団体があることを知り、早速に友人たちも誘って入会しました。

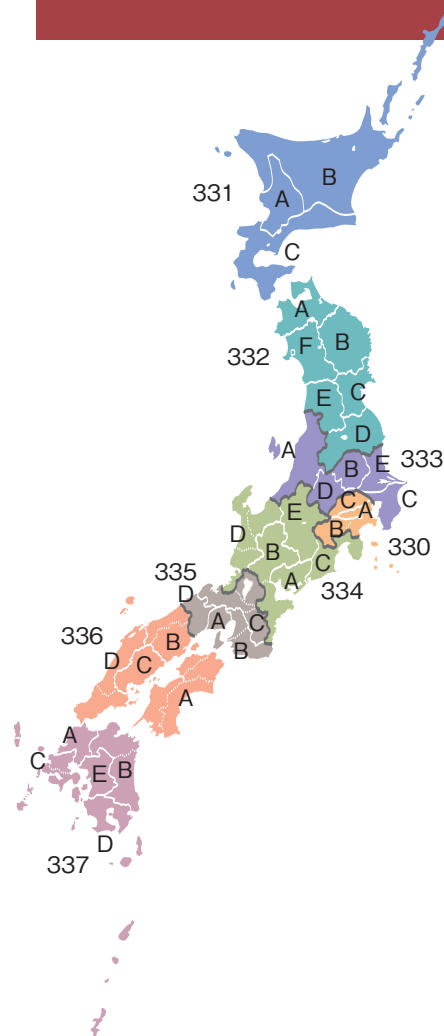
ライオンズクラブのモットーは「ウィ・サーブ」です。奉仕の原点がまさにこのことだと思います。ただ金品を提供するだけでは、お互いに大きな感動は生まれません。この実話は爾来40数年、私のライオンズ・ライフに大きな影響を与えております。

今年度のライオン誌編集方針の中で、瀧澤嘉門編集長は「会員の減少の原因は（中略）日本が抱えている諸問題によるところも多いかと思われます」と述べておられます。今、私たちがすべき最大のアクティビティは、「ライオニズム」を地域に広め、感動を共有出来る奉仕の仲間を増やす会員増強だと思います。クラブ活動の場は単一クラブが原点です。奉仕活動はクラブ会員みんなで考え、知恵を出し、汗を流し、各クラブは何が出来るかを問い直すことです。今こそ日本の伝統的な文化や習慣を始め「日本人の心」を取り戻す絶好の機会ではないでしょうか。

日本のライオンズ

2009.9.30 ServannA報告による

地区	都道府県	■クラブ数	■会員数	(女性会員)	期首からの入会	期首からの退会	期首からの増減
330-A	東京	200	5,499	(803)	181	122	59
330-B	神奈川·山梨·東京	181	5,215	(514)	171	151	20
330-C	埼玉	102	2,637	(217)	56	48	8
330	計	483	13,351	(1,534)	408	321	87
331-A	北海道(道央)	77	2,666	(185)	82	53	29
331-B	北海道(道北·道東)	90	2,603	(105)	69	55	14
331-C	北海道(道南)	59	1,874	(166)	70	38	32
331	計	226	7,143	(456)	221	146	75
332-A	青森	68	1,868	(149)	53	32	21
332-B	岩手	54	2,151	(529)	63	21	42
332-C	宮城	79	1,488	(97)	47	36	11
332-D	福島	77	2,067	(168)	59	33	26
332-E	山形	58	1,884	(170)	36	37	-1
332-F	秋田	51	1,355	(201)	30	26	4
332	計	387	10,813	(1,314)	288	185	103
333-A	新潟	79	2,907	(206)	72	50	22
333-B	栃木	57	1,472	(312)	80	12	68
333-C	千葉	133	3,525	(516)	84	85	-1
333-D	群馬	57	2,084	(249)	31	86	-55
333-E	茨城	82	2,953	(277)	69	52	17
333	計	408	12,941	(1,560)	336	285	51
334-A	愛知	121	5,632	(489)	153	84	69
334-B	岐阜·三重	85	3,865	(299)	93	53	40
334-C	静岡	83	3,280	(73)	96	62	34
334-D	富山·石川·福井	99	4,145	(231)	121	78	43
334-E	長野	53	2,133	(155)	34	26	8
334	計	441	19,055	(1,247)	497	303	194
335-A	兵庫(東)	105	2,779	(391)	52	39	13
335-B	大阪·和歌山	199	6,284	(665)	129	112	17
335-C	滋賀·京都·奈良	121	4,211	(305)	109	77	32
335-D	兵庫(西)	67	2,124	(214)	39	37	2
335	計	492	15,398	(1,575)	329	265	64
336-A	徳島·高知·香川·愛媛	155	5,922	(640)	155	137	18
336-B	鳥取·岡山	97	3,309	(258)	86	79	7
336-C	広島	105	3,827	(202)	102	69	33
336-D	島根·山口	102	3,334	(210)	99	80	19
336	計	459	16,392	(1,310)	442	365	77
337-A	福岡·長崎	117	4,623	(486)	143	56	87
337-B	大分·宮崎	79	2,448	(143)	77	43	34
337-C	佐賀·長崎	84	3,019	(391)	84	50	34
337-D	鹿児島·沖縄	82	2,520	(207)	133	82	51
337-E	熊本	56	1,637	(145)	45	29	16
337	計	418	14,247	(1,372)	482	260	222
総計		3,314	109,340	(10,368)	3,003	2,130	873
世界のライオンズの		7.3%	8.3%				

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2009.9.30 国際協会集計

ライオンズ国または領域	205
世界のクラブ数	45,663
世界の会員数	1,323,013
期首からの増減	4,080

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	12,699	371,392	-2,570
インド	5,673	179,291	3,827
韓国	2,033	83,894	929

ライオン誌12月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2009年(平成21年)11月20日発行　毎月1回20日発行　第52巻第6号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　Tel 03-3542-9571
印刷所　共同印刷株式会社